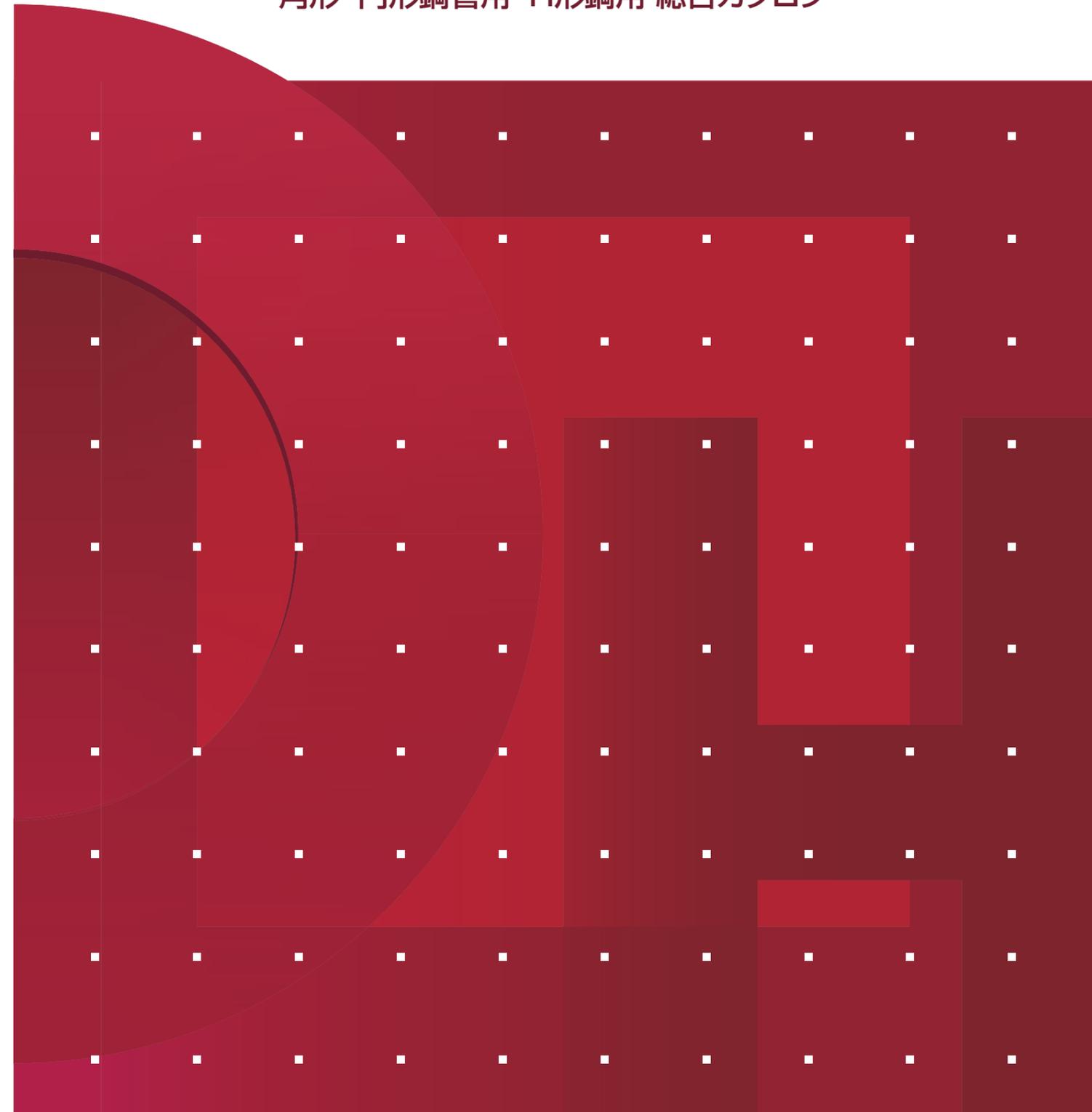


# ベースパック®

角形・円形鋼管用・H形鋼用 総合カタログ



〈製造販売元〉  
 **岡部株式会社**  
〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2  
TEL.03-3624-5336

〈販売元〉  
**旭化成建材株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105  
TEL.03-3296-3515

URL : <https://www.b-pack.net/>

# ベースパック柱脚工法

建物の耐震性はオーナーの皆様にとって、大変な関心事だと思われます。高耐震性能である「保有耐力接合」を中心とした製品ラインナップを持つベースパックは、そのニーズに確実に応えます。建築物の安全をベースパックは支えます。

## 近年発生した大規模地震

- 1993年 1月15日／釧路沖地震 ..... M7.8
- 1993年 7月12日／北海道南西沖地震 ..... M7.8
- 1994年10月 4日／北海道東方沖地震 ..... M8.2
- 1994年12月28日／三陸はるか沖地震 ..... M7.6
- 1995年 1月17日／兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災) M7.3
- 2000年10月 6日／鳥取県西部地震 ..... M7.3
- 2003年 5月26日／三陸南地震 ..... M7.0
- 2003年 9月26日／十勝沖地震 ..... M8.0
- 2004年10月23日／新潟県中越地震 ..... M6.8
- 2005年 3月20日／福岡県西方沖地震 ..... M7.0
- 2005年 8月16日／宮城県南部地震 ..... M7.2
- 2007年 3月25日／能登半島地震 ..... M6.9
- 2007年 7月16日／新潟県中越沖地震 ..... M6.8
- 2011年 3月11日／東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) M9.0
- 2013年 4月13日／淡路島地震 ..... M6.3
- 2014年11月22日／長野県北部地震 ..... M6.7
- 2016年 4月16日／熊本地震 ..... M7.0
- 2016年12月28日／茨城北部地震 ..... M6.3
- 2018年 4月 9日／島根県西部地震 ..... M6.1
- 2018年 6月18日／大阪府北部地震 ..... M6.1
- 2018年 9月 6日／北海道胆振東部地震 ..... M6.7
- 2019年 6月18日／山形県沖地震 ..... M6.7
- 2021年 2月13日／福島県沖地震 ..... M7.3
- 2022年 3月16日／福島県沖地震 ..... M7.4

## 施工

ベースパックは30年以上の施工実績を誇り、蓄積したノウハウにより高品質な施工を提供しています。

## 耐震性

1986年の販売開始以来地震における「柱脚被害0」の実績が高い耐震性能を証明しています。

※過去累計で415万柱(2023年5月現在。岡部株式会社、旭化成建材株式会社との共同調査結果による)

## 製品

ISO9001:2015取得の工場が供給するベースパックは、専用の鋼材を使用し厳密な品質管理のもと製造されています。

## 研究

ベースパックは数々の実験・解析による技術知見に基づき、性能の向上と新しい設計手法の提案を行っています。

# Contents 目次

ご使用にあたって	3	■ CFT 専用ベースパック	37
■ 各種資料	4	■ 柱型立上り部の設計	39
■ 概要	5	■ 設計指針(抜粋)	41
■ 特長	7	■ 標準施工	43
■ 品種の選定	11	■ ベースプレートの溶接	47
■ 柱脚の検討フロー	12	■ 評定書・認定書	48
■ 製品ラインナップ	13	■ 構成部品	49
■ 標準仕様	17		

このカタログの中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。

**⚠** : 一般的な注意を喚起する表示

**⚠ 警告** : 取扱いを誤った場合に、人が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示

本内容・使用は2024年6月現在のもので、製品仕様・外観は予告なく変更することがあります。また、記載の寸法や数値は、基準値であり、絶対的、保証値的なものではありませんので、あらかじめご了承ください。図・写真の製品の色は、実物とは異なります。本設計カタログで不明な点がございましたら弊社にお問い合わせください。

## ご使用にあたって

このカタログは、建築設計事務所様、建築施工会社様、鉄骨業者様等において、ベースパックのご採用をご検討いただく際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。建築物を設計および施工管理される際には、ベースパック設計ハンドブック、ベースパック施工マニュアルを必ずご一読くださるようお願いいたします。

### 建築施工会社の現場工事管理者様へのお願い

ベースパック柱脚工法は、建築施工会社・鉄骨業者様とベースパック施工会社が共同で施工を行う工法です。実施にあたり、特に次の点をご確認ください。

アンカーボルトを据付ける際、「アンカーボルトの位置(心・高さ)の指示」および「据付け後の精度確認」は建築施工会社の工事管理者様が必ず行ってください。ベースパック施工者はその指示に従うものとします。

### 免責事項

万一ベースパックに問題が発生した場合には、下記免責事項をふまえた上で対応させていただきます。

1. 本カタログ及び関連資料(設計ハンドブック、設計施工標準図、施工マニュアル等)に記載した事項に反した設計・施工による不具合。
2. 設計者・施工業者等の使用者が指示した標準仕様以外の仕様・施工方法・部材等に起因する不具合。
3. 標準仕様以外の設計者・施工業者等の使用者から支給された部材等に起因する不具合。
4. 瑕疵(かし)を発見後、すみやかに届けがされなかった場合。
5. ベースパック柱脚工法におけるアンカーボルトの据付け及びベースパックグラウト注入の施工をベースパック・セレクトベース施工技術委員会が認定した有資格者以外に作業させたことにより生じた不具合。
6. 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱など)により発生した不具合。
7. 本カタログ及び関連資料に記載した製品の保管方法・有効期限が守られずに発生した不具合。
8. あらかじめ定めた用途、部位以外に使用し、それにより発生した不具合。
9. 使用者もしくは第三者の故意または、過失により発生した不具合。
10. 引き渡し後、構造、性能、仕様等の改変を行い、これにより発生した不具合。
11. 構造物の変形、老朽化、外部からの衝突等、製品以外の外的要因により発生した不具合。
12. 開発、製造、販売、施工時に通常予想される環境(温度、湿度、地盤、その他)等の条件下以外における使用に起因することにより発生した不具合。

# 各種資料

## ベースパック資料一覧



- (一財)日本建築センター評定書
- 国土交通大臣認定書
- 設計施工標準図
- 柱脚詳細図
- 配筋検討用白図
- ベースパック諸元・サイズ一覧・色別表
- ベースパック耐力曲線
- ベースパック耐力判定システム(BTM)

## ベースパック各種資料のダウンロード

ベースパックの各種資料はホームページよりダウンロードできます。

### ■ B-PACK.NET(ベースパックホームページ)

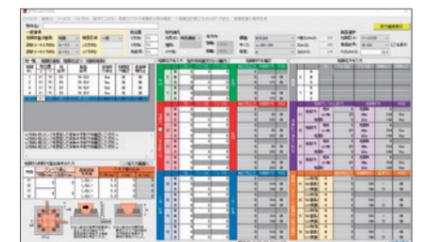


ベースパック資料ダウンロードURL  
<https://www.b-pack.net/>

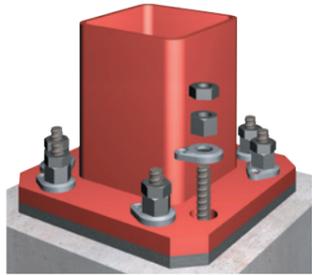
ベースパック工法

### ■ BTMのご案内

BTMはベースパックの耐力を判定するWindows用アプリケーションソフトです。使用するベースパックを選択すると、画面上に柱脚耐力曲線が表示されます。構造計算の結果を参照し、「柱脚に生ずる力」を入力するだけで、設計ルートに応じて自動的に1次設計の判定、2次設計の判定、保有耐力接合の判定を行い、使用の可否を視覚的に判断することができます。



# 概要



ベースパック柱脚工法は、非常に高い固定度を有する露出形式の柱脚工法です。主要部材であるアンカーボルトをアンカーフレーム等で所定の位置に設置し、配筋・型枠・コンクリート打設を経て、鉄骨建方の後、ベースプレート下面にベースパックグラウト(高強度無収縮モルタル)を注入座金を介して注入することにより、ベースプレートと基礎コンクリートとを密着・固定させる工法です。

## ■ 変更内容

### アンカーボルトの大臣認定材料を新たに追加

建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣の材料認定を新たに取得しました。

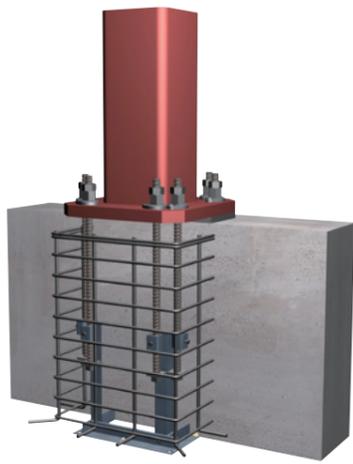
【令和4年11月17日付 BCJ評定-ST0093-18】  
【令和4年 5月20日付 BCJ評定-ST0054-11】

## ■ 柱脚概要図

### I 型



### II 型 UB



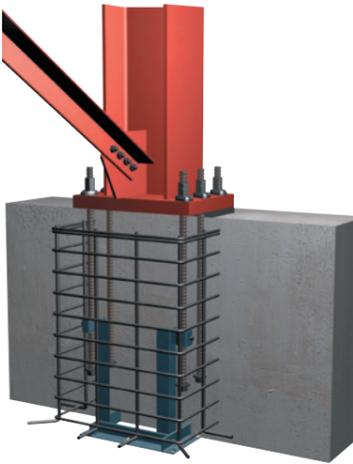
### NT FX3・S3



### 円形 V2・V3



### H形 V2・V2Q・V3・VS



## ■ ベースパック評定取得変遷

昭和62年 9月	建設省認定「東住指発第301号」取得 鉄骨造の露出型柱脚工法として第一号で取得	対応サイズ(□-175×175~□-300×300)
平成 2年 5月	建設省認定「東住指発第195号」取得 II型追加	対応サイズ(□-350×350~□-450×450)
平成 5年12月	建設省認定「東住指発第642号」取得 円形追加 II型モデルチェンジ	対応サイズ(□-350×350~□-500×500、φ190~φ508)
平成10年 6月	建設省認定「東住指発第262号」取得 NT追加 I型モデルチェンジ	対応サイズ(□-150×150~□-750×750)
平成14年 1月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-01」取得 (建築基準法第38条削除への対応)	対応サイズ(□-150×150~□-750×750、φ190~φ508)
平成15年 4月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-01」取得 I型・II型・円形モデルチェンジ	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ508)
平成18年 4月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-03」取得 H形追加	対応サイズ(H-200×200~H-400×400、 H-300×200~H-800×300)
平成20年10月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-08」取得 I型・II型・円形ブレース対応開始	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ508)
平成20年12月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-06」取得 NTブレース対応開始	対応サイズ(□-300×300~□-750×750)
平成21年12月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-09」取得 円形モデルチェンジ I型・H形仕様追加	対応サイズ(□-150×150~□-175×175、φ190~φ812) (H-150×150~H-175×175、 H-200×150~H-350×175)
平成23年 2月	(財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-10」取得 H形仕様追加	対応サイズ(H-900×300)
平成24年 1月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-07」取得 NT改良、CFT対応開始	対応サイズ(□-300×300~□-750×750)
平成25年 5月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-12」取得 コンクリート柱型断面の縮小・拡大寸法の設定	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)
平成26年 8月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-13」取得 II型仕様追加、UB追加	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)
平成26年11月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-14」取得 I型モデルチェンジ	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)
平成28年 1月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-15」取得 材料認定の取得	対応サイズ(□-150×150~□-550×550、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)
平成28年 1月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-08」取得 材料認定の取得	対応サイズ(□-300×300~□-750×750)
平成28年 9月 平成28年11月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-16」取得 (一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-09」取得 建築構造用冷間ロール整形角形鋼管(TSC295)追加	対応サイズ(□-150×150~□-750×750、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)
平成30年 9月	(一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0093-17」取得 (一財)日本建築センター評定「BCJ評定-ST0054-10」取得 基礎コンクリート破壊防止等の確認、II型仕様追加	対応サイズ(□-150×150~□-750×750、φ190~φ812) (H150×150~H900×300)

## ■ 評定番号一覧

ベースパック型式	評定番号	取得日
角形鋼管用【I型】【II型】【UB】・円形鋼管用・H形鋼用	BCJ評定-ST0093-18	令和4年11月17日
角形鋼管用【NT-FX3・S3】	BCJ評定-ST0054-11	令和4年 5月20日

# 特長

## 保有耐力接合を中心としたラインナップで高い耐震性能を有しています

ベースパックの製品ラインナップは、柱脚の曲げに対する耐力が柱材の全塑性モーメント(Mpc)の $\alpha$ 倍<sup>※1</sup>以上となる保有耐力接合<sup>※2</sup>を満足するタイプを中心としています。さらに、設計方針にあわせて、柱脚ヒンジタイプもお選びいただけます。

### 保有耐力接合タイプ

保有耐力接合タイプは、「柱脚曲げ耐力>柱Mpc $\times\alpha$ <sup>※1</sup>」であるため、鉄骨柱が地震エネルギーを吸収します。それにより、鉄骨造本来の特長である高い耐震性能を生かした安全な構造躯体とすることができます。

#### I型・II型・UB・円形・H形 (H-V2, H-V2Q, H-V3)

アンカーボルトに高強度でコンクリートへの付着力を有する異形棒鋼またはネジ鉄筋を採用することで、高耐力・高回転性を発揮します。ベースプレートには、SN490B・TMCP鋼または高強度かつ溶接性に優れたベースパック専用材BT-HT440B-SP(建築構造用高溶接性高性能590N/mm<sup>2</sup>鋼材)を採用しています。

#### NT-FX3

高強度で靱性に富んだ非熱処理高張力丸鋼(引張強さ880N/mm<sup>2</sup>以上)のアンカーボルトは、高耐力かつ優れた伸び能力を有しています。ベースプレートには、溶接性に優れたTMCP鋼を採用しています。

※ BCR295の柱にNT-FX3を使用するなど、一部の組合せでは軸力0においても保有耐力接合を満足しない場合があります。詳細についてはお問合せください。

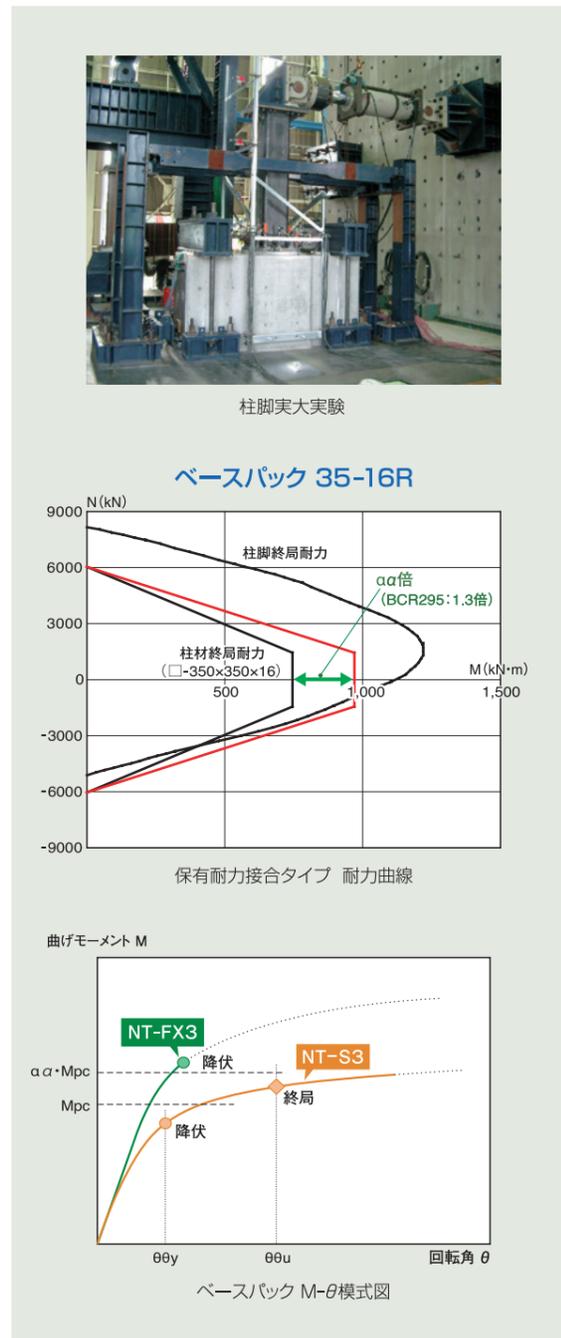
### 柱脚ヒンジタイプ

#### NT-S3

柱脚の降伏耐力を柱材全塑性モーメントの0.9倍程度<sup>※2</sup>とし保有水平耐力計算時に柱脚ヒンジを想定した柱脚です。アンカーボルトの特性とボルトの配置の効果により、柱脚降伏後も耐力が上昇し柱脚終局耐力が柱材全塑性モーメントを超えるため、鉄骨柱のエネルギー吸収も期待できる柱脚です。

#### H形 (H-VS)

コンクリート柱型をコンパクトに納めた柱脚です。回転剛性を低く抑えることで基礎への負担を低減するため、独立基礎などに適しています。



※1 柱材F値235 N/mm<sup>2</sup>、295 N/mm<sup>2</sup>: $\alpha=1.3$   
柱材F値325 N/mm<sup>2</sup>、365 N/mm<sup>2</sup>: $\alpha=1.2$

※2 軸力0の場合

## (一財)日本建築センターの評定を取得しています

実大実験やFEM解析などにより、優れた曲げ・せん断耐力を有することが証明されています。また、アンカーボルト・ベースプレート・柱型について性能、コスト両面に対して最も効率的な部材形状としています。

## 柱脚ディテールを標準化しています

全製品において柱脚ディテールを標準化し、柱脚性能値を規定しているため、コンクリート柱型を含む柱脚を設計する必要はありません。

## 伸び能力のあるアンカーボルトを採用しています

アンカーボルトには、降伏比0.75以下の素材を転造ネジ加工したもの、またはネジ部と軸部の断面積が同一のネジ鉄筋を採用しており、2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書による軸部の全断面降伏までネジ部が破断しない性能とする「伸び能力のあるアンカーボルト」の基準を満たしています。

## 基礎根切り深さを浅くでき経済的です

異形棒鋼のアンカーボルトとコンクリートの付着や、丸鋼のアンカーボルトと定着ベルトとの組み合わせにより、優れた定着性能を有しています。これにより、基礎根切り深さを浅く設定でき、掘削、山留め、残土処理費用等の経費が大幅に軽減できます。

## 鉄骨建方が容易です

ベースプレートのボルト孔とアンカーボルトとのクリアランスが15~30mmあるため、鉄骨建方の作業性に優れています。



ベースプレートのボルト孔とアンカーボルトのクリアランス

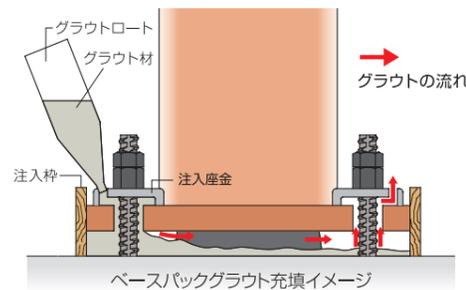
## 高品質な施工を全国規模で安定供給できます

すべての現場で「アンカーボルト据付け」及び「ベースパックグラウト注入」について、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者が施工を実施し、「ベースパックチェックシート」による施工の確認を行っています。施工上の問題が生じやすい異種構造の接点となる柱脚部に、高品質な施工を供給します。

## 独自のグラウト充填技術により優れたせん断耐力を発揮します

### 独自のグラウト充填技術

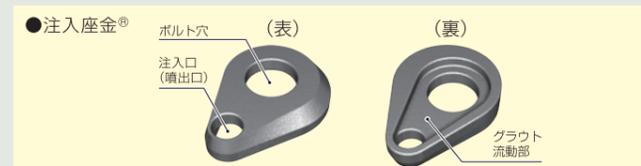
特殊な注入座金を介してグラウト材を空隙部（ベースプレートのボルト孔とボルトのクリアランスおよびベースプレート下面）に充填することにより、基礎上面と十分な密着が図れます。また、注入座金からグラウト材が噴出すことにより、目視にて充填完了が確認できます。



### ■グラウト材 充填状況 (アクリル製のベースプレートを使用)



専用ロートを用いて注入します 自重圧により充填されていきます グラウト噴出して充填完了が確認できます

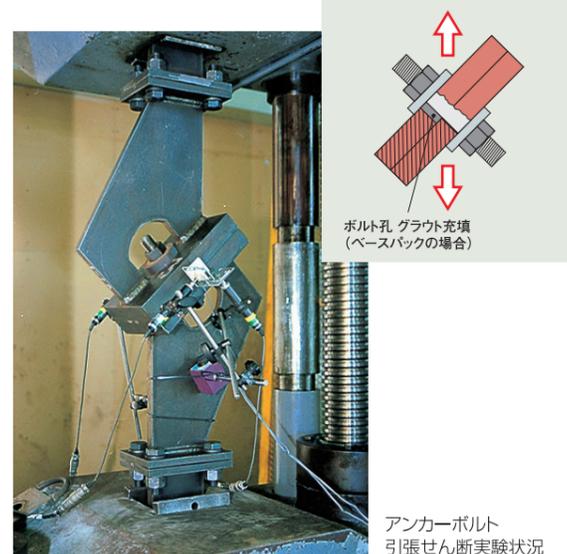


※注入材は専用のベースパックグラウト(高強度無収縮モルタル)を使用します。

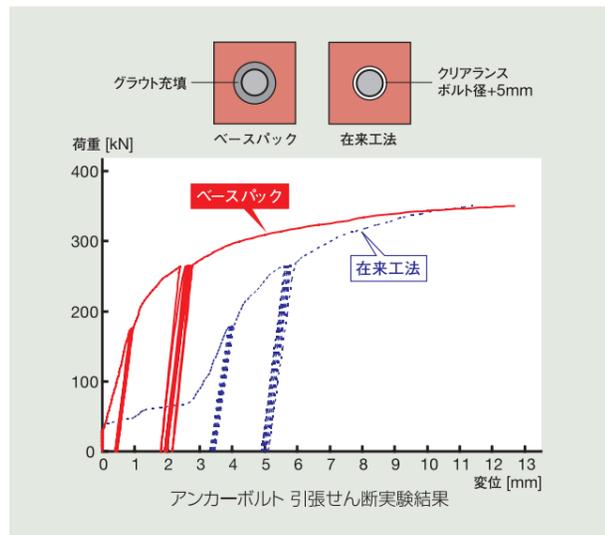
ベースパックホームページにて、グラウト注入動画をご覧いただけます。

### 優れたせん断耐力

ベースプレートのボルト孔クリアランスにグラウト材が充填されることにより、柱に加わるせん断力を全てのアンカーボルトに伝達することができます。一般工法のように座金を溶接しなくても、ベースパックは優れたせん断耐力を発揮します。



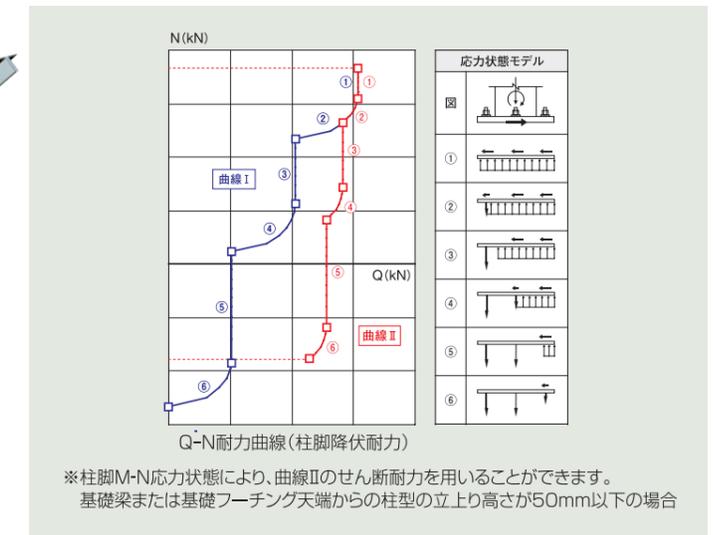
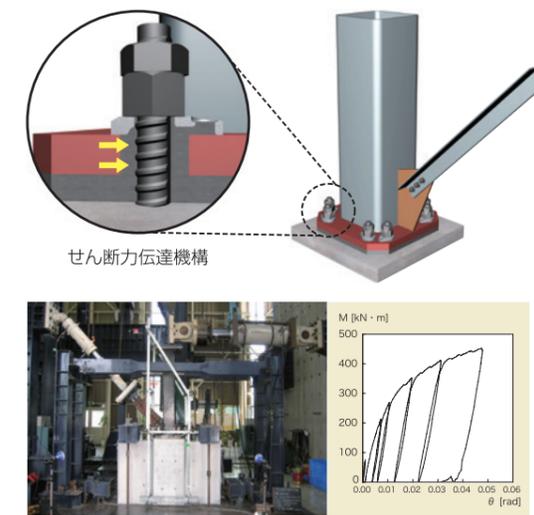
ベースパックは全てのアンカーボルトにせん断力を負担させることができるため、柱型側方破壊耐力においても優れた耐力を発揮します。



※基礎コンクリートの破壊防止等の確認については、ベースパック柱脚工法設計ハンドブックをご参照下さい。

### ブレース構造に適した柱脚

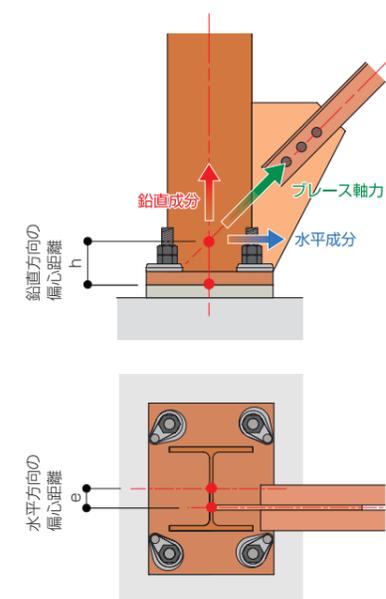
柱脚に引張軸力が作用する状況においても優れたせん断耐力を有するベースパックは、ブレース構造に最適な露出型柱脚です。せん断力-軸力(Q-N)関係耐力曲線により、容易に検討が行えます。



### ブレースの偏心取付に対する検討を明確にしました

柱心に対してブレース心が偏心する場合、柱脚には“ねじれ”が発生します。ベースパックは、この“ねじれ”を適切に評価し、柱脚の安全性を確認することができます。

### ■ブレースの偏心取付



### ■検討の概要 (ベースパック耐力判定システム (BTM) にて検討可能です。)

ブレースが偏心することによって付加される応力を考慮<sup>※</sup>し、検討を行います。

鉛直方向の偏心	水平方向の偏心	
<p>→ 成分</p> <p>鉛直方向の偏心により生ずる付加モーメント</p> <p>付加モーメントの加算</p>	<p>→ 成分</p> <p>ねじれモーメントによる付加せん断力</p> <p>水平偏心距離に応じたブレース軸力の割増し</p>	<p>→ 成分</p> <p>偏心鉛直力による柱強軸回りの付加モーメント</p>

※ブレースの偏心取付を考慮した柱脚の応力「柱脚検用応力」については、ベースパック柱脚工法設計ハンドブックをご参照ください。

# 品種の選定

ベースパックは柱のサイズ・鋼種ごとに柱脚仕様が標準化されています。柱の鋼種や断面寸法を設定すると同時に対応する柱脚も設定されますので、構造設計を一連の流れの中で進めることができます。

柱材の種類*1		柱脚タイプの選択	ベースパック型式
柱材形状	柱材寸法*2・基準強度		
角形	F≤295	保有耐力接合タイプ	I・II型
	F≤325	保有耐力接合タイプ 柱脚ヒンジタイプ	NT-FX3 NT-S3
	F≤365	保有耐力接合タイプ	UB
円形	F=235	保有耐力接合タイプ	円形-V2
	F≤325	保有耐力接合タイプ	円形-V3
H形	F=235	保有耐力接合タイプ	H-V2・H-V2Q
		柱脚ヒンジタイプ	H-VS
	F≤325	保有耐力接合タイプ	H-V3
		柱脚ヒンジタイプ	H-VS

## ■ベースパック適用範囲表

### 角形鋼管用

ベースパック型式	柱材		適用柱サイズ													
	F値*3	例	□150	□175	□200	□250	□300	□350	□400	□450	□500	□550	□600	□650	□700	□750
I型・II型	295N/mm <sup>2</sup> 以下	BCR295	I型(保有耐力接合タイプ)							II型(保有耐力接合タイプ)						
NT	325N/mm <sup>2</sup> 以下	BCP325	FX3(保有耐力接合タイプ)													
			S3(柱脚ヒンジタイプ)													
UB	365N/mm <sup>2</sup> 以下	UBCR365	UB(保有耐力接合タイプ)													

### 円形鋼管用

ベースパック型式	柱材		適用柱サイズ													
	F値*3	例	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	φ500	φ550	φ600	φ650	φ700	φ750	φ800	
円形-V2	235N/mm <sup>2</sup>	STKN400	円形-V2(保有耐力接合タイプ)													
円形-V3	325N/mm <sup>2</sup> 以下	STKN490	円形-V3(保有耐力接合タイプ)													

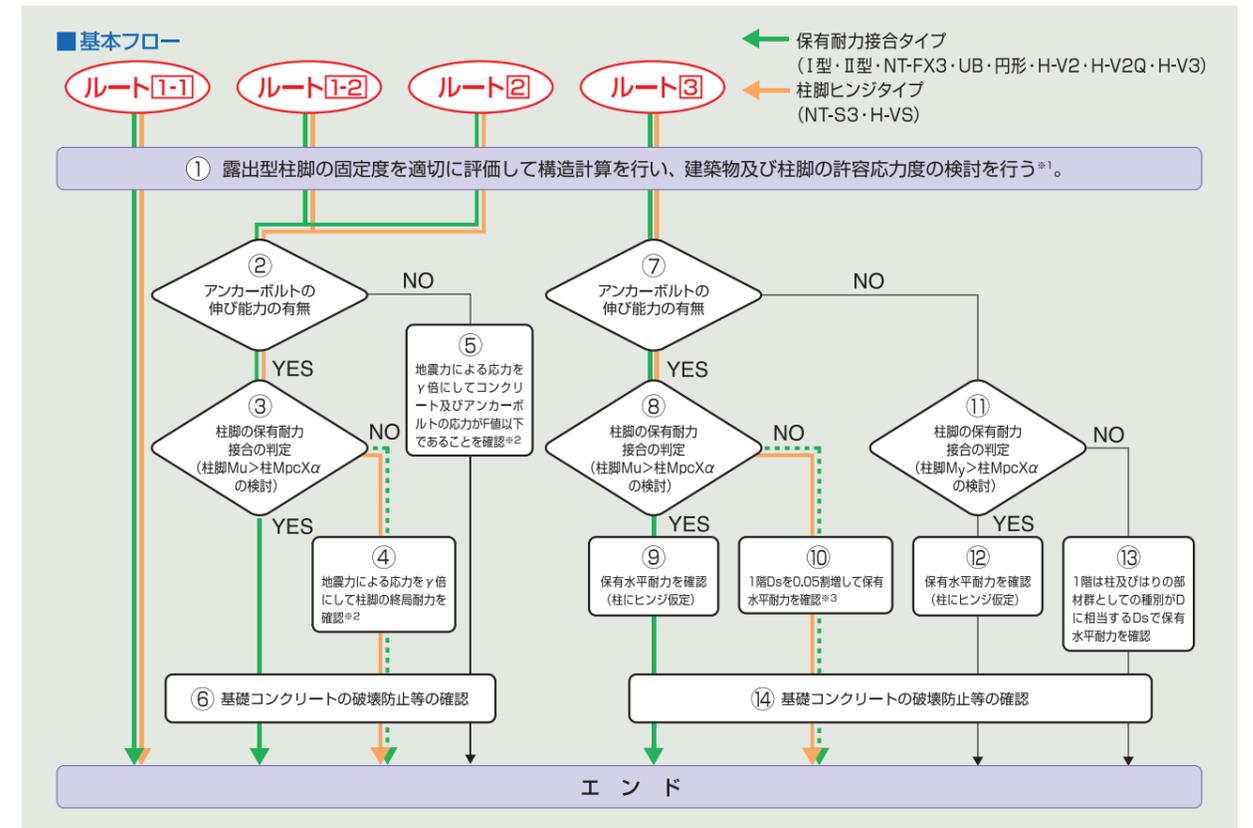
### H形鋼用

ベースパック型式	柱材		適用柱サイズ													
	F値*3	例	H150	H175	H200	H250	H300	H350	H400	H450	H500	H600	H700	H800	H900	
H-V2	235N/mm <sup>2</sup>	SN400B	H-V2(保有耐力接合-標準タイプ)													
H-V2Q	235N/mm <sup>2</sup>	SN400B	H-V2Q(保有耐力接合-高せん断耐力タイプ)													
H-V3	325N/mm <sup>2</sup> 以下	SN490B	H-V3(保有耐力接合-標準タイプ)													
H-VS	325N/mm <sup>2</sup> 以下	SN490B	H-VS(柱脚ヒンジ-低回転剛性タイプ)													

\*1 CFT造をご使用の場合はP37-38をご参照ください。 \*2 各ベースパックの対応柱材寸法はP13-16をご参照ください。  
\*3 柱材の鋼種は設計ハンドブックをご参照ください。

# 柱脚の検討フロー

ベースパックを採用した柱脚の検討は、「露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」\*4に則して下図のような流れになります。



\*1 ルート1-1の建築物でピンに近い形状の柱脚が使われる場合は、別途定める簡便な方法で検討してもよい。 \*2 ルート1-2ではγを1.67とする。  
\*3 柱及びはりの部材群としての種別がDの場合は割り増ししない。 \*4 2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書参照

## ■保有耐力接合タイプ (I型・II型・NT-FX3・UB・円形・H-V2・H-V2Q・H-V3)

ルート1-2もしくはルート2の場合は ①→②→③\*5→⑥→エンド  
 ルート3の場合は..... ①→⑦→⑧\*5→⑨→⑩→⑭→エンド  
 ②・⑦：アンカーボルトには、降伏比0.75以下の素材に転造ネジ加工したもの、またはネジ部と軸部の断面積が同一のネジ鉄筋を採用しているため、アンカーボルトに伸び能力があると判定します。  
 ③・⑧：保有耐力接合の条件(柱脚終局耐力 $Mu^{*6}$ >柱の $Mpc \times \alpha$ )を満足します\*5。  
 \*5 軸力によっては③・⑧の判定において保有耐力接合を満足しない場合があります。その際③→④もしくは⑧→⑩のルートが進みます。  
 \*6 NT-FX3では柱脚降伏耐力となります。

## ■柱脚ヒンジタイプ (NT-S3・H-VS)

ルート1-2もしくはルート2の場合は ①→②→③→④→⑥→エンド  
 ルート3の場合は..... ①→⑦→⑧→⑩→⑭→エンド  
 ②・⑦：アンカーボルトには、降伏比0.75以下の素材に転造ネジ加工したもの、またはネジ部と軸部の断面積が同一のネジ鉄筋を採用しているため、アンカーボルトに伸び能力があると判定します。  
 ③・⑧：保有耐力接合を満足しないと判定します。

⑥・⑭：設計ハンドブック「4.7 基礎コンクリートの破壊防止等の確認」(P32)に基づいて検討が必要です。

# 製品ラインナップ

## I型・II型

柱		F値 295N/mm <sup>2</sup> 以下※1
外径	板厚	ベースパック記号
		保有耐力接合
□-150×150	t≤12	15-12V
	t≤12	17-12V
□-175×175	t≤9	20-09V
	t≤12	20-12V
□-200×200	t≤9	25-09V
	t≤12	25-12V
□-250×250	t≤9	30-09V
	t≤12	30-12V
□-300×300	t≤16	30-16V
	t≤19	30-19V
□-350×350	t≤16	35-16R
	t≤19	35-19R
	t≤22	35-22R
	t≤25	35-25R
□-400×400	t≤16	40-16R
	t≤19	40-19R
	t≤22	40-22R
	t≤25	40-25R
□-450×450	t≤19	45-19R
	t≤22	45-22R
	t≤25	45-25R
	t≤28	45-28R
□-500×500	t≤19	50-19R
	t≤22	50-22R
	t≤28	50-28R
□-550×550	t≤19	55-19R
	t≤22	55-22R
	t≤25	55-25R
	t≤28	55-28R

※1 柱材の鋼種は設計ハンドブックをご参照ください。

## NT-FX3・S3

柱		F値 325N/mm <sup>2</sup> 以下※1	
外径	板厚	ベースパック記号	
		保有耐力接合	柱脚ヒンジ
□-300×300	t≤19	30-19FX3	30-19S3
	t≤16	35-16FX3	35-16S3
	t≤19	35-19FX3	35-19S3
□-350×350	t≤22	35-22FX3	35-22S3
	t≤25	35-25FX3	35-25S3
	t≤16	40-16FX3	40-16S3
□-400×400	t≤19	40-19FX3	40-19S3
	t≤22	40-22FX3	40-22S3
	t≤25	40-25FX3	40-25S3
□-450×450	t≤16	45-16FX3	45-16S3
	t≤19	45-19FX3	45-19S3
	t≤22	45-22FX3	45-22S3
	t≤25	45-25FX3	45-25S3
□-500×500	t≤28	45-28FX3	45-28S3
	t≤19	50-19FX3	50-19S3
	t≤22	50-22FX3	50-22S3
	t≤25	50-25FX3	50-25S3
□-550×550	t≤28	50-28FX3	50-28S3
	t≤32	50-32FX3	50-32S3
	t≤19	55-19FX3	55-19S3
	t≤22	55-22FX3	55-22S3
□-600×600	t≤25	55-25FX3	55-25S3
	t≤28	55-28FX3	55-28S3
	t≤32	55-32FX3	55-32S3
	t≤19	60-19FX3	60-19S3
□-650×650	t≤22	60-22FX3	60-22S3
	t≤25	60-25FX3	60-25S3
	t≤28	60-28FX3	60-28S3
	t≤32	60-32FX3	60-32S3
□-700×700	t≤22	65-22FX3	65-22S3
	t≤25	65-25FX3	65-25S3
	t≤28	65-28FX3	65-28S3
	t≤32	65-32FX3	65-32S3
□-750×750	t≤22	70-22FX3	70-22S3
	t≤25	70-25FX3	70-25S3
	t≤28	70-28FX3	70-28S3
	t≤32	70-32FX3	70-32S3

※1 柱材の鋼種は設計ハンドブックをご参照ください。

**警告** 組立箱形断面柱には適用できません。

## UB

柱		F値 365N/mm <sup>2</sup> 以下※1	
外径	板厚	ベースパック記号	保有耐力接合
		□-350×350	
□-400×400	t≤19	35-19UB	
	t≤22	35-22UB	
	t≤16	40-16UB	
□-450×450	t≤19	40-19UB	
	t≤22	40-22UB	
	t≤16	45-16UB	
□-500×500	t≤19	45-19UB	
	t≤22	45-22UB	
	t≤19	50-19UB	
□-550×550	t≤22	50-22UB	
	t≤19	55-19UB	
	t≤22	55-22UB	

※1 柱材の鋼種は設計ハンドブックをご参照ください。

**警告** 組立箱形断面柱には適用できません。

## 円形-V2・V3

柱		F値 235N/mm <sup>2</sup> ※1		F値 325N/mm <sup>2</sup> 以下※1	
外径	板厚	ベースパック記号	保有耐力接合	ベースパック記号	保有耐力接合
		φ190.7			
φ216.3	t≤16.0	216-16V2	t≤9.5	216-10V3	
	t≤12.7	216-13V2			
φ267.4	t≤16.0	216-16V2	t≤12.7	216-13V3	
	t≤12.7	267-13V2			
φ300.0	t≤16.0	267-16V2	t≤9.3	267-09V3	
	t≤12.7	267-13V2			
φ318.5	t≤25.0	267-25V2	t≤12.7	267-13V3	
	t≤16.0	267-16V2			
φ350.0	t≤12.7	318-13V2	t≤9.0	318-09V3	
	t≤16.0	318-16V2			
	t≤25.0	318-25V2			
φ355.6	t≤12.7	318-13V2	t≤12.7	318-13V3	
	t≤16.0	318-16V2			
	t≤22.0	318-22V2			
φ400.0	t≤12.7	355-13V2	t≤9.5	355-10V3	
	t≤16.0	355-16V2			
	t≤22.0	355-22V2			
φ406.4	t≤12.7	355-13V2	t≤12.7	355-13V3	
	t≤19.0	355-19V2			
	t≤22.0	355-22V2			
φ450.0	t≤25.0	355-25V2	t≤16.0	355-16V3	
	t≤19.0	406-13V2			
	t≤12.7	406-13V2			
φ457.2	t≤19.0	406-19V2	t≤12.7	406-13V3	
	t≤25.0	406-25V2			
	t≤22.0	406-22V2			
φ500.0	t≤25.0	406-25V2	t≤16.0	406-16V3	
	t≤19.0	406-19V2			
	t≤12.7	406-13V2			
φ508.0	t≤12.7	457-13V2	t≤9.5	406-19V3	
	t≤19.0	457-19V2			
	t≤25.0	457-25V2			
φ550.0	t≤36.0	457-36V2	t≤28.0	457-28V3	
	t≤14.0	457-14V2			
	t≤12.7	457-13V2			
φ558.8	t≤19.0	457-19V2	t≤12.7	457-13V3	
	t≤25.0	457-25V2			
	t≤36.0	457-36V2			
φ600.0	t≤14.0	508-14V2	t≤9.5	457-19V3	
	t≤22.0	508-22V2			
	t≤16.0	508-16V2			
φ609.6	t≤22.0	508-22V2	t≤16.0	457-28V3	
	t≤32.0	508-32V2			
	t≤40.0	508-40V2			
φ650.0	t≤16.0	508-16V2	t≤22.0	508-10V3	
	t≤28.0	508-28V2			
	t≤36.0	508-36V2			
φ660.4	t≤16.0	558-16V2	t≤12.7	508-16V3	
	t≤28.0	558-28V2			
	t≤36.0	558-36V2			
φ700.0	t≤22.0	558-22V2	t≤16.0	508-22V3	
	t≤28.0	558-28V2			
	t≤36.0	558-36V2			
φ711.2	t≤22.0	609-22V2	t≤16.0	558-13V3	
	t≤36.0	609-36V2			
	t≤25.0	609-25V3			
φ750.0	t≤28.0	609-28V2	t≤22.0	609-16V3	
	t≤36.0	609-36V2			
	t≤28.0	660-28V2			
φ762.0	t≤36.0	660-36V2	t≤25.0	609-22V3	
	t≤28.0	660-28V2			
	t≤36.0	660-36V2			
φ800.0	t≤28.0	660-28V2	t≤22.0	609-25V3	
	t≤36.0	660-36V2			
	t≤25.0	660-25V2			
φ812.8	t≤28.0	711-28V2	t≤22.0	660-22V3	
	t≤32.0	711-32V2			
	t≤28.0	711-28V2			
φ812.8	t≤32.0	711-32V2	t≤25.0	660-25V3	
	t≤25.0	762-25V2			
	t≤28.0	762-28V2			
φ812.8	t≤28.0	762-28V2	t≤19.0	660-22V3	
	t≤22.0	812-22V2			
	t≤28.0	812-28V2			

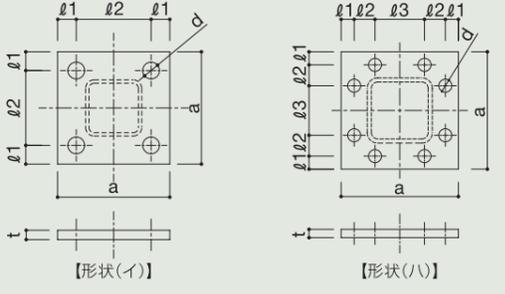
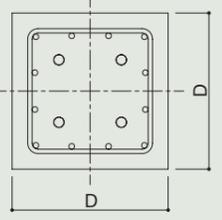
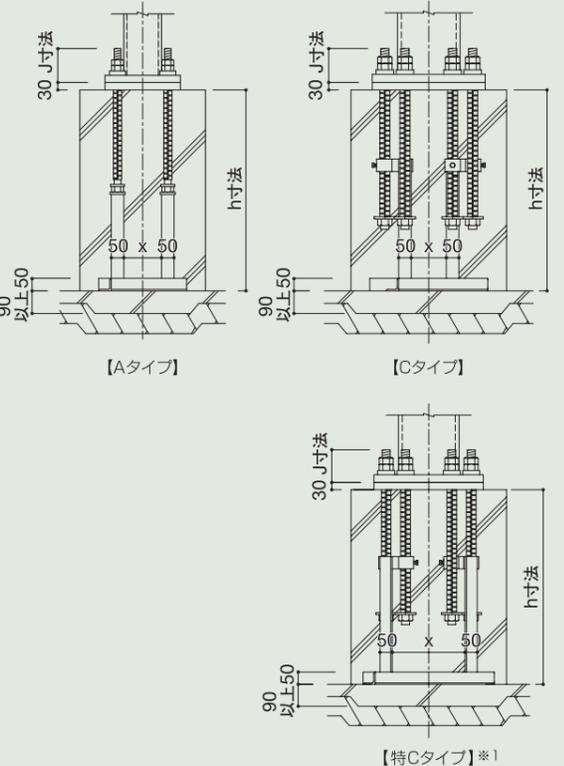
※1 柱材の鋼種は設計ハンドブックをご参照ください。

\* オーダー品のため、別途お問い合わせ願います。



# 標準仕様

## 【I型】角形鋼管 □150~300用 柱材F値 295N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

概要図	ベースパック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト(フレーム)				
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法x	最低h寸法
<p>■ ベースプレート</p>  <p>■ コンクリート柱型</p>  <p>■ アンカーボルト(フレーム)</p> 	15-12V	A	4-M27	490	135	150	550
	17-12V	A	4-M30	490	135	180	600
	20-09V	A	4-M30	490	135	210	600
	20-12V	A	4-M33	490	135	210	600
	25-09V	A	4-M36	490	150	260	650
	25-12V	A	4-M39	490	150	270	650
	25-16V	C	8-M33	490	135	140	650
		特C				300	
	30-09V	A	4-M39	490	150	320	650
	30-12V	C	8-M30	490	135	210	650
		特C				370	
	30-16V	C	8-M36	490	150	210	700
	特C	370					
30-19V	C	8-M36	490	150	240	700	
	特C				400		

※1 杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できます。ご指定の場合は設計図書または施工図等に特記願います。

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位: mm  
単位: N/mm<sup>2</sup>

ベースプレート								コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]
材質	形状	a	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	d	断面D標準寸法 片側縮小・片側拡大	立上り筋	フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	
SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	500×500 (-0,+35) <sup>*2</sup>	12-D16 (SD295)	D13@100	21以上	14.0
SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	530×530 (-0,+45) <sup>*2</sup>	12-D19 (SD345)	D13@100	21以上	20.0
SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	560×560 (-0,+45) <sup>*2</sup>	12-D16 (SD295)	D13@100	21以上	22.0
SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	560×560 (-0,+60) <sup>*2</sup>	12-D19 (SD345)	D13@100	21以上	26.0
SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	610×610 (-0,+75) <sup>*2</sup>	12-D19 (SD345)	D13@100	21以上	42.0
SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	630×630 (-0,+80) <sup>*2</sup>	12-D19 (SD345)	D13@100	21以上	49.0
SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	620×620 (-10,+125) <sup>*2</sup>	12-D19 (SD345)	D13@100	21以上	81.0
	640×640 (-0,+115) <sup>*2</sup>											
SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	680×680 (-0,+80) <sup>*2</sup>	12-D22 (SD345)	D13@100	21以上	72.0
SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	700×700 (-15,+105) <sup>*2</sup>	12-D22 (SD345)	D13@100	21以上	90.0
	710×710 (-0,+100) <sup>*2</sup>											
SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	710×710 (-20,+135) <sup>*2</sup>	12-D22 (SD345)	D13@100	21以上	114
	710×710 (-0,+135) <sup>*2</sup>											
SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	740×740 (-10,+135) <sup>*2</sup>	12-D22 (SD345)	D13@100	21以上	108
	740×740 (-0,+135) <sup>*2</sup>											

※2 ( )内は、標準寸法に対して片側に縮小できる寸法、拡大できる寸法を示します。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

【Ⅱ型】角形鋼管 □350~550用 柱材F値 295N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースパック 記号	アンカー フレーム タイプ	アンカーボルト (フレーム)				
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレーム ポスト間 寸法x	最低h寸法
<p>■ ベースプレート</p> <p>【形状(H)】      【形状(N)】</p>	35-16R	C	8-D38	390	180	250	750
		特C				450	
	35-19R	C	8-D38	390	180	250	750
		特C				450	
	35-22R	C	8-D41	390	190	250	800
		特C				450	
	35-25R	C	12-D38	390	180	250	800
		特C				450	
	40-16R	C	8-D41	390	190	320	800
		特C				520	
	40-19R	C	8-D41	390	190	320	800
		特C				520	
	40-22R	C	12-D38	390	180	320	800
		特C				520	
	40-25R	C	12-D41	390	190	320	800
		特C				520	
	45-19R	C	12-D38	390	180	370	800
		特C				570	
	45-22R	C	12-D41	390	190	370	800
		特C				570	
	45-25R	C	12-D41H	490	200	370	850
		特C				570	
	45-28R	C	12-D51	390	230	330	950
		特C				570	
	50-19R	C	12-D41	390	190	440	800
		特C				640	
	50-22R	C	12-D41H	490	200	440	850
		特C				640	
	50-25R	C	12-D51	390	230	380	950
		特C				610	
	50-28R	C	12-D51H	490	235	380	1,050
		特C				610	
	55-19R	C	12-D41H	490	200	460	850
		特C				660	
	55-22R	C	12-D41H	490	200	520	850
		特C				720	
	55-25R	C	12-D51	390	230	460	950
		特C				690	
	55-28R	C	12-D51H	490	235	460	1,050

■ コンクリート柱型

■ アンカーボルト (フレーム)

【Cタイプ-ABt 8本】      【Cタイプ-ABt 12本】

【特Cタイプ-ABt 8本】※1      【特Cタイプ-ABt 12本】※1

ベースプレート							コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]	
材質	形状	a	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	d	断面D標準寸法 片側縮小・片側拡大	立上り筋 SD345	フープ筋 SD295		コンクリート 設計基準強度
SN490B	(H)	630	45	65	85	330	φ70	800×800 (-10,+160) <sup>※2</sup>	12-D25	D13@100	21以上	158
								840×840 (-15,+140) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(H)	630	44	65	85	330	φ70	800×800 (-0,+160) <sup>※2</sup>	12-D25	D13@100	21以上	169
								840×840 (-15,+140) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(H)	630	44	65	85	330	φ75	800×800 (-0,+180) <sup>※2</sup>	16-D22	D13@100	21以上	175
								830×830 (-10,+165) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	650	48	75	85	165	φ70	850×850 (-0,+135) <sup>※2</sup>	16-D25	D13@100	21以上	276
BT-HT440B-SP	(H)	700	44	65	85	400	φ75	870×870 (-10,+180) <sup>※2</sup>	12-D25	D13@100	21以上	197
								910×910 (-15,+160) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(H)	700	48	65	85	400	φ75	870×870 (-10,+180) <sup>※2</sup>	16-D22	D13@100	21以上	212
								900×900 (-10,+165) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	700	48	65	85	200	φ70	900×900 (-0,+145) <sup>※2</sup>	16-D25	D13@100	21以上	299
								910×910 (-5,+140) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	710	48	70	85	200	φ75	900×900 (-0,+165) <sup>※2</sup>	16-D25	D13@100	21以上	351
								910×910 (-5,+160) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	750	48	65	85	225	φ70	950×950 (-0,+145) <sup>※2</sup>	16-D25	D13@100	21以上	359
								960×960 (-5,+140) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>※2</sup>	20-D25	D13@100	21以上	404
BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>※2</sup>	24-D25	D13@100	24以上	363
BT-HT440B-SP	(ニ)	770	60	75	110	200	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>※2</sup>	24-D25	D13@100	24以上	404
BT-HT440B-SP	(ニ)	820	52	65	85	260	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>※2</sup>	20-D25	D13@100	21以上	439
								1,030×1,030 (-15,+115) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	65	85	260	φ75	1,050×1,050 (-0,+190) <sup>※2</sup>	24-D25	D16@100	21以上	467
BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	1,050×1,050 (-0,+210) <sup>※2</sup>	24-D25	D16@100	24以上	478
BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	1,140×1,140 (-0,+205) <sup>※2</sup>	32-D25	D16@100	24以上	471
BT-HT440B-SP	(ニ)	840	52	65	85	270	φ75	1,100×1,100 (-0,+175) <sup>※2</sup>	24-D25	D16@100	24以上	535
BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	65	85	300	φ75	1,100×1,100 (-0,+205) <sup>※2</sup>	24-D25	D16@100	24以上	486
								1,120×1,120 (-0,+195) <sup>※2</sup>				
BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	75	110	265	φ75	1,100×1,100 (-0,+225) <sup>※2</sup>	32-D25	D16@100	24以上	552
BT-HT440B-SP	(ニ)	900	65	75	110	265	φ75	1,150×1,150 (-0,+240) <sup>※2</sup>	36-D25	D16@100	24以上	572

※1 杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できます。ご指定の場合は設計図書または施工図等に特記願います。

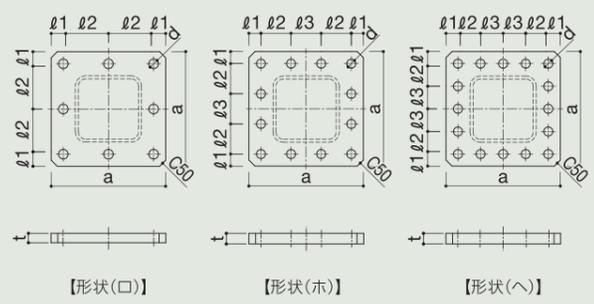
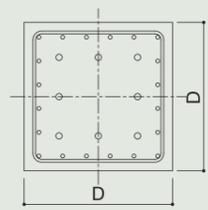
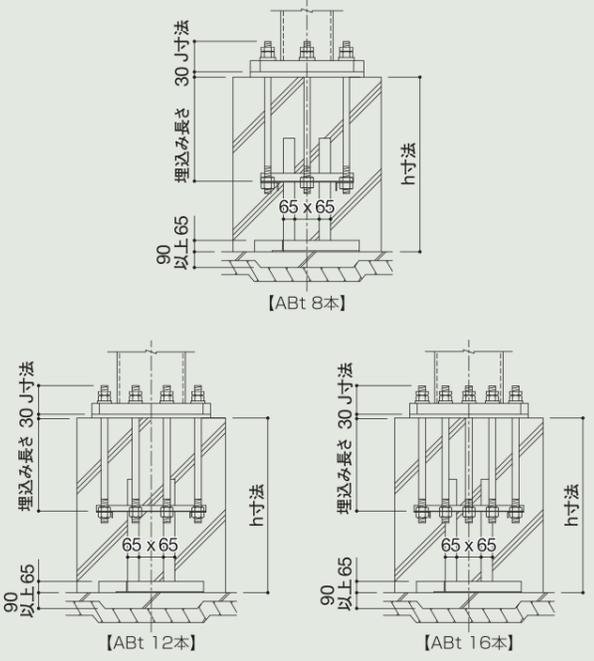
※2 ( )内は、標準寸法に対して片側に縮小できる寸法、拡大できる寸法を示します。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**[NT-FX3] 角形鋼管 □300~750用** 柱材F値 325N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースパック 記号	アンカーボルト (フレーム)				
		本数-呼び	J寸法	埋込み 長さ	フレームポスト 間寸法x	最低h寸法
<p>■ ベースプレート</p>  <p>【形状(口)】 【形状(ホ)】 【形状(へ)】</p> <p>■ コンクリート柱型</p>  <p>■ アンカーボルト (フレーム)</p>  <p>【ABt 8本】 【ABt 12本】 【ABt 16本】</p>	30-19FX3	8-M36	175	600	140	850
	35-16FX3	8-M36	175	600	230	900
	35-19FX3	8-M39	175	600	230	900
	35-22FX3	8-M42	190	650	230	900
	35-25FX3	8-M42	190	650	230	900
	40-16FX3	8-M42	190	650	270	950
	40-19FX3	8-M45	190	650	270	950
	40-22FX3	8-M48	200	700	270	950
	40-25FX3	8-M48	200	700	270	950
	45-16FX3	8-M45	190	650	330	1,000
	45-19FX3	8-M48	200	700	330	1,000
	45-22FX3	8-M52	220	700	330	1,000
	45-25FX3	8-M52	220	700	330	1,000
	45-28FX3	8-M56	230	750	330	1,000
	50-19FX3	8-M52	220	700	380	1,100
	50-22FX3	8-M56	230	750	380	1,100
	50-25FX3	8-M56	230	750	380	1,100
	50-28FX3	8-M60	250	800	380	1,100
	50-32FX3	8-M64	250	850	380	1,100
	55-19FX3	8-M56	230	750	440	1,100
	55-22FX3	8-M60	250	800	440	1,100
	55-25FX3	8-M60	250	800	440	1,100
	55-28FX3	12-M56	230	750	440	1,100
	55-32FX3	12-M56	230	750	440	1,100
	60-19FX3	12-M48	200	700	490	1,100
	60-22FX3	12-M52	220	700	490	1,100
	60-25FX3	12-M56	230	750	490	1,100
	60-28FX3	12-M56	230	750	490	1,100
	60-32FX3	12-M60	250	800	490	1,100
	65-22FX3	12-M56	230	750	540	1,100
65-25FX3	12-M60	250	800	540	1,100	
65-28FX3	12-M60	250	800	540	1,100	
65-32FX3	12-M64	250	850	540	1,100	
70-22FX3	16-M52	220	700	590	1,100	
70-25FX3	16-M56	230	750	590	1,100	
70-28FX3	16-M56	230	750	590	1,100	
70-32FX3	16-M60	250	800	590	1,100	
75-22FX3	16-M52	220	700	680	1,100	
75-25FX3	16-M56	230	750	680	1,100	
75-28FX3	16-M60	250	800	680	1,100	
75-32FX3	16-M64	250	850	680	1,100	

ベースプレート								コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]
材質	形状	a	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	d	断面D	立上り筋 <sup>※1</sup> SD345	フープ筋 <sup>※1</sup> SD295	コンクリート 設計基準強度	
TMCP325B	(口)	650	50	100	225	-	φ55	850×850	20-D22	D13@125(D16@150)	21以上	66.7
TMCP325B	(口)	700	50	80	270	-	φ55	900×900	24-D22	D13@125(D16@150)	21以上	78.5
TMCP325B	(口)	700	55	80	270	-	φ60	900×900	24-D22	D13@125(D16@150)	21以上	94.1
TMCP325B	(口)	700	60	80	270	-	φ60	900×900	20-D25	D13@125(D16@150)	21以上	108
TMCP325B	(口)	700	60	80	270	-	φ60	900×900	24-D25	D13@125(D16@150)	21以上	110
TMCP325B	(口)	750	60	85	290	-	φ65	950×950	20-D25	D13@100(D16@150)	21以上	143
TMCP325B	(口)	750	60	85	290	-	φ65	950×950	24-D25	D13@100(D16@150)	21以上	154
TMCP325B	(口)	750	65	85	290	-	φ70	950×950	24-D25(20-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	178
TMCP325B	(口)	750	65	85	290	-	φ70	950×950	28-D25(24-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	181
TMCP325B	(口)	800	65	80	320	-	φ70	1,000×1,000	24-D25	D13@100(D16@150)	21以上	193
TMCP325B	(口)	800	65	80	320	-	φ70	1,000×1,000	28-D25(24-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	200
TMCP325B	(口)	800	70	80	320	-	φ70	1,000×1,000	28-D25(24-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	232
TMCP325B	(口)	800	75	80	320	-	φ75	1,000×1,000	32-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	261
TMCP325B	(口)	800	75	80	320	-	φ75	1,050×1,050	36-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	272
TMCP325B	(口)	860	65	90	340	-	φ70	1,050×1,050	28-D25(24-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	270
TMCP325B	(口)	900	75	100	350	-	φ75	1,100×1,100	32-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	311
TMCP325B	(口)	900	75	100	350	-	φ75	1,100×1,100	40-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	317
TMCP325B	(口)	900	80	100	350	-	φ80	1,150×1,150	40-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	350
TMCP325B	(口)	900	85	100	350	-	φ85	1,150×1,150	44-D25(40-D29)	D13@100(D16@150)	21以上	384
TMCP325B	(口)	950	75	100	375	-	φ75	1,150×1,150	32-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	346
TMCP325B	(口)	950	75	100	375	-	φ80	1,150×1,150	36-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	386
TMCP325B	(口)	950	75	100	375	-	φ80	1,150×1,150	44-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	392
TMCP325B	(ホ)	950	85	100	250	250	φ75	1,200×1,200	44-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	581
TMCP325B	(ホ)	950	85	100	250	250	φ75	1,200×1,200	48-D25(40-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	590
TMCP325B	(ホ)	1,000	70	100	265	270	φ70	1,200×1,200	36-D25(28-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	479
TMCP325B	(ホ)	1,000	80	100	265	270	φ75	1,200×1,200	40-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	588
TMCP325B	(ホ)	1,000	80	100	265	270	φ75	1,200×1,200	44-D25(36-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	612
TMCP325B	(ホ)	1,000	85	100	265	270	φ80	1,250×1,250	48-D25(40-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	689
TMCP325B	(ホ)	1,000	85	100	265	270	φ80	1,250×1,250	56-D25(44-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	722
TMCP325B	(ホ)	1,050	80	100	280	290	φ80	1,300×1,300	44-D25(36-D29)	D16@150	24以上	692
TMCP325B	(ホ)	1,050	80	100	280	290	φ80	1,300×1,300	48-D25(40-D29)	D16@150	24以上	721
TMCP325B	(ホ)	1,050	85	100	280	290	φ85	1,350×1,350	52-D25(44-D29)	D16@100	24以上	817
TMCP325B	(ホ)	1,050	85	100	280	290	φ85	1,350×1,350	64-D25(48-D29)	D16@100	24以上	848
TMCP325B	(へ)	1,150	80	125	225	225	φ75	1,400×1,400	48-D25(36-D29)	D16@100	24以上	965
TMCP325B	(へ)	1,150	80	125	225	225	φ75	1,400×1,400	56-D25(44-D29)	D16@100	24以上	1,010
TMCP325B	(へ)	1,150	90	125	225	225	φ80	1,450×1,450	60-D25(48-D29)	D16@100	24以上	1,130
TMCP325B	(へ)	1,150	90	125	225	225	φ80	1,450×1,450	68-D25(52-D29)	D16@100	24以上	1,180
TMCP325B	(へ)	1,250	90	130	245	250	φ75	1,500×1,500	52-D25(40-D29)	D16@100	24以上	1,130
TMCP325B	(へ)	1,250	90	130	245	250	φ75	1,500×1,500	56-D25(44-D29)	D16@100	24以上	1,180
TMCP325B	(へ)	1,250	95	130	245	250	φ85	1,550×1,550	64-D25(48-D29)	D16@100	24以上	1,350
TMCP325B	(へ)	1,250	95	130	245	250	φ85	1,550×1,550	68-D25(56-D29)	D16@100	24以上	1,410

※1 ( )内の配筋仕様もご使用いただけます。

**[NT-S3] 角形鋼管 □300~750用** 柱材F値 325N/mm<sup>2</sup>以下 柱脚ヒンジ

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースパック 記号	アンカーボルト (フレーム)				
		本数-呼び	J寸法	埋込み 長さ	フレームポスト 間寸法x	最低h寸法
<p>■ ベースプレート</p> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>■ アンカーボルト (フレーム)</p>	30-19S3	4-M39	175	600	140	850
	35-16S3	4-M45	190	650	140	900
	35-19S3	8-M36	175	600	170	900
	35-22S3	8-M36	175	600	170	900
	35-25S3	8-M39	175	600	170	900
	40-16S3	8-M36	175	600	230	900
	40-19S3	8-M39	175	600	230	900
	40-22S3	8-M39	175	600	230	900
	40-25S3	8-M42	190	650	230	900
	45-16S3	8-M39	175	600	300	950
	45-19S3	8-M42	190	650	300	950
	45-22S3	8-M42	190	650	300	950
	45-25S3	8-M45	190	650	300	950
	45-28S3	8-M48	200	700	300	950
	50-19S3	8-M45	190	650	350	950
	50-22S3	8-M45	190	650	350	950
	50-25S3	8-M48	200	700	350	950
	50-28S3	8-M52	220	700	350	950
	50-32S3	8-M52	220	700	350	950
	55-19S3	8-M45	190	650	420	1,000
	55-22S3	8-M48	200	700	420	1,000
	55-25S3	8-M52	220	700	420	1,000
	55-28S3	8-M52	220	700	420	1,000
	55-32S3	8-M56	230	750	420	1,000
	60-19S3	8-M48	200	700	470	1,050
	60-22S3	8-M52	220	700	470	1,050
	60-25S3	8-M56	230	750	470	1,050
	60-28S3	8-M56	230	750	470	1,050
	60-32S3	8-M60	250	800	470	1,050
	65-22S3	12-M45	190	650	540	1,050
65-25S3	12-M48	200	700	540	1,050	
65-28S3	12-M52	220	700	540	1,050	
65-32S3	12-M52	220	700	540	1,050	
70-22S3	12-M48	200	700	590	1,050	
70-25S3	12-M52	220	700	590	1,050	
70-28S3	12-M52	220	700	590	1,050	
70-32S3	12-M56	230	750	590	1,050	
75-22S3	12-M52	220	700	640	1,050	
75-25S3	12-M52	220	700	640	1,050	
75-28S3	12-M56	230	750	680	1,050	
75-32S3	12-M56	230	750	680	1,050	

ベースプレート								コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]
材質	形状	a	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	d	断面D	立上り筋 <sup>*1</sup> SD345	フープ筋 <sup>*1</sup> SD295	コンクリート 設計基準強度	
TMCP325B	(イ)	600	50	75	450	-	φ65	800×800	20-D22	D13@125(D16@150)	21以上	43.1
TMCP325B	(イ)	600	50	75	450	-	φ65	800×800	24-D22(20-D25)	D13@125(D16@150)	21以上	66.7
TMCP325B	(ロ)	640	50	80	240	-	φ55	850×850	24-D22	D13@125(D16@150)	21以上	88.3
TMCP325B	(ロ)	640	50	80	240	-	φ55	850×850	24-D22	D13@125(D16@150)	21以上	90.2
TMCP325B	(ロ)	640	50	80	240	-	φ60	850×850	32-D22	D13@125(D16@150)	21以上	110
TMCP325B	(ロ)	690	50	75	270	-	φ55	900×900	24-D22	D13@125(D16@150)	21以上	107
TMCP325B	(ロ)	690	50	75	270	-	φ60	900×900	32-D22	D13@125(D16@150)	21以上	128
TMCP325B	(ロ)	690	50	75	270	-	φ60	900×900	32-D22	D13@125(D16@150)	21以上	131
TMCP325B	(ロ)	690	55	75	270	-	φ60	950×950	28-D25	D13@125(D16@150)	21以上	147
TMCP325B	(ロ)	750	55	70	305	-	φ60	950×950	24-D25	D13@125(D16@150)	21以上	147
TMCP325B	(ロ)	750	55	70	305	-	φ60	1,000×1,000	24-D25	D13@125(D16@150)	21以上	168
TMCP325B	(ロ)	750	55	70	305	-	φ60	1,000×1,000	28-D25	D13@125(D16@150)	21以上	172
TMCP325B	(ロ)	750	60	70	305	-	φ65	1,050×1,050	32-D25	D13@100(D16@150)	21以上	198
TMCP325B	(ロ)	800	65	95	305	-	φ70	1,100×1,100	36-D25	D13@100(D16@150)	21以上	221
TMCP325B	(ロ)	830	60	85	330	-	φ65	1,100×1,100	28-D25	D13@100(D16@150)	21以上	231
TMCP325B	(ロ)	830	60	85	330	-	φ65	1,100×1,100	28-D25	D13@100(D16@150)	21以上	237
TMCP325B	(ロ)	830	65	85	330	-	φ70	1,150×1,150	32-D25	D13@100(D16@150)	21以上	259
TMCP325B	(ロ)	830	70	85	330	-	φ70	1,150×1,150	40-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	304
TMCP325B	(ロ)	830	70	85	330	-	φ70	1,150×1,150	44-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	311
TMCP325B	(ロ)	900	60	85	365	-	φ65	1,100×1,100	28-D25	D13@100(D16@150)	21以上	265
TMCP325B	(ロ)	900	65	85	365	-	φ70	1,150×1,150	32-D25	D13@100(D16@150)	21以上	290
TMCP325B	(ロ)	900	70	85	365	-	φ70	1,150×1,150	40-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	342
TMCP325B	(ロ)	900	70	85	365	-	φ70	1,150×1,150	44-D25(32-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	349
TMCP325B	(ロ)	950	75	110	365	-	φ75	1,200×1,200	48-D25(40-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	408
TMCP325B	(ロ)	960	70	90	390	-	φ70	1,200×1,200	32-D25	D13@100(D16@150)	21以上	332
TMCP325B	(ロ)	960	70	90	390	-	φ70	1,250×1,250	40-D25	D13@100(D16@150)	21以上	393
TMCP325B	(ロ)	960	75	90	390	-	φ75	1,250×1,250	44-D25(36-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	443
TMCP325B	(ロ)	960	75	90	390	-	φ75	1,250×1,250	48-D25(40-D29)	D13@100(D16@150)	24以上	452
TMCP325B	(ロ)	1,000	80	110	390	-	φ80	1,300×1,300	56-D25(44-D29)	D16@150	24以上	507
TMCP325B	(ホ)	1,030	70	90	280	290	φ70	1,250×1,250	40-D25	D16@100	21以上	516
TMCP325B	(ホ)	1,030	70	90	280	290	φ70	1,350×1,350	44-D25	D16@100	21以上	530
TMCP325B	(ホ)	1,030	80	90	280	290	φ70	1,350×1,350	48-D25(40-D29)	D16@100	24以上	634
TMCP325B	(ホ)	1,030	80	90	280	290	φ70	1,350×1,350	52-D25(44-D29)	D16@100	24以上	647
TMCP325B	(ホ)	1,100	70	100	300	300	φ70	1,350×1,350	44-D25	D16@100	21以上	595
TMCP325B	(ホ)	1,100	75	100	300	300	φ70	1,350×1,350	52-D25(40-D29)	D16@100	24以上	715
TMCP325B	(ホ)	1,100	75	100	300	300	φ70	1,350×1,350	52-D25(44-D29)	D16@100	24以上	728
TMCP325B	(ホ)	1,100	80	100	300	300	φ75	1,450×1,450	64-D25(48-D29)	D16@100	24以上	807
TMCP325B	(ホ)	1,150	75	100	315	320	φ70	1,400×1,400	48-D25(36-D29)	D16@100	24以上	793
TMCP325B	(ホ)	1,150	75	100	315	320	φ70	1,400×1,400	52-D25(40-D29)	D16@100	24以上	810
TMCP325B	(ホ)	1,200	85	100	330	340	φ75	1,450×1,450	56-D25(44-D29)	D16@100	24以上	836
TMCP325B	(ホ)	1,200	85	100	330	340	φ75	1,450×1,450	64-D25(48-D29)	D16@100	24以上	854

\*1 ( )内の配筋仕様もご使用いただけます。

**【UB】角形鋼管 □350~550用** 柱材F値 365N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

概要図	ベースパック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト (フレーム)				
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法x	最低h寸法
<p>■ ベースプレート</p> <p>【形状(H)】      【形状(N)】</p> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>■ アンカーボルト (フレーム)</p> <p>【Cタイプ-ABt 8本】      【Cタイプ-ABt 12本】</p>	35-16UB	C	8-D41	390	190	250	800
	35-19UB	C	8-D41H	490	200	250	850
	35-22UB	C	12-D38	390	180	250	800
	40-16UB	C	12-D38	390	180	320	800
	40-19UB	C	12-D41	390	190	320	800
	40-22UB	C	12-D41	390	190	320	800
	45-16UB	C	12-D41	390	190	370	800
	45-19UB	C	12-D41H	490	200	370	850
	45-22UB	C	12-D51	390	230	330	950
	50-19UB	C	12-D51	390	230	380	950
	50-22UB	C	12-D51H	490	235	380	1,050
	55-19UB	C	12-D51	390	230	460	950
	55-22UB	C	12-D51H	490	235	460	1,050

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位: mm  
単位: N/mm<sup>2</sup>

ベースプレート								コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]
材質	形状	a	t	l1	l2	l3	d	断面寸法標準寸法 片側縮小・片側拡大	立上り筋 SD345	フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	
BT-HT440B-SP	(H)	630	44	65	85	330	φ75	800×800 (-0,+180) <sup>*1</sup>	16-D22	D13@100	21以上	175
BT-HT440B-SP	(H)	630	48	65	85	330	φ75	800×800 (-0,+215) <sup>*1</sup>	16-D22	D13@100	21以上	162
BT-HT440B-SP	(N)	650	48	75	85	165	φ70	850×850 (-0,+135) <sup>*1</sup>	16-D25	D13@100	21以上	276
BT-HT440B-SP	(N)	700	48	65	85	200	φ70	900×900 (-0,+145) <sup>*1</sup>	16-D25	D13@100	21以上	299
BT-HT440B-SP	(N)	710	48	70	85	200	φ75	900×900 (-0,+165) <sup>*1</sup>	16-D25	D13@100	21以上	351
BT-HT440B-SP	(N)	720	52	75	85	200	φ75	920×920 (-0,+155) <sup>*1</sup>	20-D25	D13@100	21以上	374
BT-HT440B-SP	(N)	750	52	65	85	225	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>*1</sup>	20-D25	D13@100	21以上	404
BT-HT440B-SP	(N)	750	52	65	85	225	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>*1</sup>	20-D25	D13@100	21以上	363
BT-HT440B-SP	(N)	770	60	75	110	200	φ75	1,000×1,000 (-0,+130) <sup>*1</sup>	24-D25	D13@100	24以上	404
BT-HT440B-SP	(N)	820	60	75	110	225	φ75	1,050×1,050 (-0,+210) <sup>*1</sup>	24-D25	D16@100	24以上	478
BT-HT440B-SP	(N)	820	60	75	110	225	φ75	1,080×1,080 (-0,+235) <sup>*1</sup>	24-D25	D16@100	24以上	475
BT-HT440B-SP	(N)	900	60	75	110	265	φ75	1,100×1,100 (-0,+225) <sup>*1</sup>	32-D25	D16@100	24以上	552
BT-HT440B-SP	(N)	900	65	75	110	265	φ75	1,130×1,130 (-0,+250) <sup>*1</sup>	32-D25	D16@100	24以上	572

\*1 ( )内は、標準寸法に対して片側に縮小できる寸法、拡大できる寸法を示します。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**【円形-V2・V3】円形鋼管 φ216~812用** 柱材F値 235N/mm<sup>2</sup>、325N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースバック記号		アンカーフレームタイプ	アンカーボルト(フレーム)						
	F235用	F325用		本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームボルト間寸法		フレームボルト寸法bh	最低h寸法
							x	z		
<p>■ ベースプレート</p> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>■ アンカーボルト(フレーム)</p>	216-13V2	216-10V3	A	4-M30	490	135	190	50	50	600
	216-16V2	216-13V3	A	4-M33	490	135	190	50	50	600
	267-13V2	267-09V3	A	4-M33	490	135	240	50	50	600
	267-16V2	267-13V3	D	4-D38	390	180	184	50	50	800
	318-13V2	318-09V3	D	4-D38	390	180	224	50	50	800
	318-16V2	318-13V3	D	4-D41	390	190	224	50	50	800
	318-25V2	318-19V3	C	8-D38	390	180	150	65	65	800
	355-13V2	355-10V3	C	8-M30	490	135	210	50	50	600
	355-16V2	355-13V3	C	8-M33	490	135	210	50	50	650
	355-22V2	355-16V3	C	8-D38	390	180	180	65	65	800
	406-13V2	406-10V3	C	8-M30	490	135	250	50	50	600
	406-19V2	406-13V3	C	8-D38	390	180	220	65	65	800
	406-22V2	406-16V3	C	8-D41	390	190	220	65	65	800
	406-25V2	406-19V3	C	8-D41H	490	200	220	65	65	850
	457-13V2	457-10V3	C	8-M33	490	135	280	50	50	650
	457-19V2	457-13V3	C	8-D41	390	190	250	65	65	800
	457-25V2	457-19V3	C	12-D38	390	180	290	65	65	800
	457-36V2	457-28V3	C	12-D41H	490	200	290	65	65	850
	508-14V2	508-10V3	C	8-D38	390	180	320	65	65	800
	508-22V2	508-16V3	C	8-D41H	490	200	320	65	65	850
	508-32V2	508-22V3	C	12-D41H	490	200	330	65	65	850
	508-40V2	508-32V3	C	12-D51	390	230	340	65	65	950
	558-16V2	558-13V3	C	8-D41H	490	200	330	65	65	850
	558-28V2	558-22V3	C	12-D41H	490	200	370	65	65	850
	558-36V2	558-28V3	C	12-D51	390	230	380	65	65	950
	609-22V2	609-16V3	C	8-D51	390	230	370	65	65	950
	609-28V2	609-22V3	C	12-D51	390	230	380	65	65	950
	609-36V2	609-25V3	C	12-D51	390	230	380	65	65	950
660-28V2	660-22V3	C	12-D51	390	230	430	65	65	950	
*660-36V2	*660-25V3	C	12-D51H	490	235	430	65	65	1,050	
711-28V2	711-22V3	C	12-D51	390	230	460	65	65	950	
*711-32V2	*711-25V3	C	12-D51H	490	235	460	65	65	1,050	
762-25V2	762-19V3	C	12-D51	390	230	480	65	65	950	
*762-28V2	*762-22V3	C	12-D51H	490	235	480	65	65	1,050	
812-22V2	812-19V3	C	12-D51	390	230	530	65	65	950	
*812-28V2	*812-22V3	C	12-D51H	490	235	530	65	65	1,050	

ベースプレート								コンクリート柱型				回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]	
材質 <sup>※1</sup> ※2		形状	a	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	d	断面口標準寸法 <sup>※3</sup>	立上り筋	フープ筋 SD295		コンクリート 設計基準強度
F235用	F325用												
SN		(イ)	350	36	55	240	-	φ45	540×540	12-D16(SD295)	D13@100	21以上	40.4
SN		(イ)	350	36	55	240	-	φ50	540×540	12-D19(SD345)	D13@100	21以上	45.7
SN		(イ)	400	36	55	290	-	φ50	590×590	12-D19(SD345)	D13@100	21以上	56.2
SN		(イ)	420	40	65	290	-	φ60	580×580	12-D19(SD345)	D13@100	21以上	51.6
SN		(イ)	460	40	65	330	-	φ60	610×610	12-D19(SD345)	D13@100	21以上	61.4
TMCP(SN)	TMCP	(イ)	460	50	65	330	-	φ65	610×610	12-D19(SD345)	D13@100	21以上	71.0
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	530	50	65	85	230	φ60	690×690	12-D22(SD345)	D13@100	21以上	145
SN		(ハ)	540	36	55	85	260	φ45	700×700	16-D19(SD345)	D13@100	21以上	153
SN		(ハ)	540	40	55	85	260	φ50	710×710	16-D19(SD345)	D13@100	21以上	178
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	560	50	65	85	260	φ60	720×720	20-D19(SD345)	D13@100	21以上	161
SN		(ハ)	600	40	65	85	300	φ45	750×750	16-D19(SD345)	D13@100	21以上	199
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	600	50	65	85	300	φ60	760×760	16-D19(SD345)	D13@100	21以上	187
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	600	50	65	85	300	φ65	760×760	20-D19(SD345)	D13@100	21以上	206
BT-HT		(ハ)	610	44	70	85	300	φ65	800×800	20-D19(SD345)	D13@100	21以上	166
SN		(ハ)	610	40	55	85	330	φ50	790×790	20-D19(SD345)	D13@100	21以上	242
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	630	50	65	85	330	φ65	800×800	20-D22(SD345)	D13@100	21以上	234
BT-HT		(ニ)	740	48	65	120	185	φ60	930×930	20-D22(SD345)	D13@100	21以上	316
BT-HT		(ニ)	740	60	65	120	185	φ65	980×980	24-D22(SD345)	D13@100	21以上	331
TMCP(SN)	TMCP	(ハ)	700	50	65	85	400	φ60	860×860	20-D19(SD345)	D13@100	21以上	252
BT-HT		(ハ)	700	52	65	85	400	φ65	920×920	24-D22(SD345)	D13@100	21以上	227
BT-HT		(ニ)	810	60	65	135	205	φ65	1,000×1,000	24-D22(SD345)	D13@100	21以上	377
BT-HT		(ニ)	830	65	75	135	205	φ75	1,050×1,050	28-D22(SD345)	D16@100	24以上	609
BT-HT		(ハ)	710	48	65	85	410	φ65	900×900	20-D22(SD345)	D13@100	24以上	244
BT-HT		(ニ)	850	60	65	135	225	φ65	1,050×1,050	24-D22(SD345)	D16@100	24以上	415
BT-HT		(ニ)	870	65	75	135	225	φ75	1,100×1,100	28-D22(SD345)	D16@100	24以上	658
BT-HT		(ハ)	820	52	80	110	440	φ75	1,000×1,000	24-D22(SD345)	D16@100	24以上	475
BT-HT		(ニ)	910	60	75	155	225	φ75	1,100×1,100	28-D22(SD345)	D16@100	24以上	710
BT-HT		(ニ)	910	65	75	155	225	φ75	1,150×1,150	24-D25(SD345)	D16@100	24以上	745
BT-HT		(ニ)	970	65	75	160	250	φ75	1,150×1,150	28-D22(SD345)	D16@100	24以上	814
BT-HT		(ニ)	970	70	75	160	250	φ75	1,200×1,200	28-D25(SD345)	D16@100	24以上	695
BT-HT		(ニ)	1,030	65	75	175	265	φ75	1,250×1,250	28-D25(SD345)	D16@100	24以上	904
BT-HT		(ニ)	1,030	70	75	175	265	φ75	1,300×1,300	28-D25(SD345)	D16@100	24以上	776
BT-HT		(ニ)	1,070	65	75	185	275	φ75	1,270×1,270	28-D25(SD345)	D16@100	24以上	997
BT-HT		(ニ)	1,070	70	75	185	275	φ75	1,300×1,300	28-D25(SD345)	D16@100	24以上	850
BT-HT		(ニ)	1,150	65	75	200	300	φ75	1,350×1,350	32-D25(SD345)	D16@100	24以上	1,075
BT-HT		(ニ)	1,150	70	75	200	300	φ75	1,400×1,400	32-D25(SD345)	D16@100	24以上	938

\* オーダー品のため、別途お問い合わせ願います。

※1 SN : SN490B、TMCP : TMCP325B、BT-HT : BT-HT440B-SP ※3 柱型の縮小・拡大寸法については、設計ハンドブックをご参照ください。  
※2 ( )内の材質で対応する場合があります。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**[H-V2] H形鋼 H150~900用** 柱材F値 235N/mm<sup>2</sup> 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースバック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト(フレーム)							
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法			フレームポスト寸法bh	最低h寸法
						x	y	z		
<p>■ ベースプレート</p> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>■ アンカーボルト(フレーム)</p> <p>Y方向立面図 X方向立面図</p>	H1515-10V2	A	4-M27	490	135	210	100	50	50	550
	H1717-11V2	A	4-M27	490	135	230	110	50	50	550
	H2015-09V2	A	4-M27	490	135	260	150	50	50	550
	H2020-12V2	A	4-M27	490	135	260	150	50	50	550
	H2512-09V2	A	4-M27	490	135	310	110	50	50	550
	H2517-11V2	A	4-M27	490	135	310	110	50	50	550
	H2525-14V2	A	4-M33	490	135	310	200	50	50	600
	H3015-09V2	H	4-M30	490	135	202	150	50	50	600
	H3020-12V2	H	4-M30	490	135	202	150	50	50	600
	H3030-15V2	H	6-M33	490	135	196	250	50	50	650
H3517-11V2	H	4-M33	490	135	276	200	50	50	650	
H3525-14V2	H	4-M33	490	135	276	200	50	50	650	
H3535-19V2	H	6-D38	390	180	270	300	50	65	750	
H4020-19V2	H	4-M36	490	150	322	150	50	50	650	
H4030-16V2	H	4-D38	390	180	318	250	50	65	750	
H4040-21V2	H	6-D41	390	190	318	350	50	65	800	
H4040-28V2	H	6-D51	390	230	308	360	65	65	900	
H4520-25V2	H	4-D41	390	190	374	150	50	65	800	
H4530-18V2	H	4-D41	390	190	374	250	50	65	800	
H5020-25V2	H	4-D41	390	190	438	150	50	65	800	
H5030-19V2	H	6-D38	390	180	438	250	50	65	750	
H5030-22V2	H	6-D41	390	190	438	250	50	65	800	
H6030-32V2	H	6-D51	390	230	498	250	65	65	900	
H7030-28V2	H	6-D51	390	230	598	250	65	65	900	
H8030-26V2	H	6-D51	390	230	698	250	65	65	900	
H9030-28V2	H	6-D51	390	230	798	250	65	65	900	
*H9030-34V2	H	6-D51H	490	235	798	250	65	65	1,000	

\* オーダー品のため、別途お問い合わせ願います。

材質	形状	ベースプレート							コンクリート柱型					回転剛性値 ×10 <sup>2</sup> [kN-m/rad]			
		ax	ay	t	lx1	lx2	ly1	ly2	d	断面Dx×Dy <sup>※1</sup> 標準寸法	立上り筋		フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	強軸	弱軸	
											本数-径	nx					ny
SN490B	(ト)	360	250	28	50	260	50	150	φ45	560×450	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	13.4	10.6
SN490B	(ト)	380	260	28	50	280	50	160	φ45	580×460	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	17.1	12.0
SN490B	(ト)	410	300	32	50	310	50	200	φ45	610×500	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	21.8	16.4
SN490B	(ト)	410	300	32	50	310	50	200	φ45	610×500	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	22.9	17.1
SN490B	(ト)	460	260	32	50	360	50	160	φ45	660×460	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	31.2	11.7
SN490B	(ト)	460	260	32	50	360	50	160	φ45	660×460	12-D16 (SD295)	4	4	D13@100	21以上	30.2	12.1
SN490B	(ト)	460	350	36	50	360	50	250	φ50	660×550	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	41.9	28.9
SN490B	(ト)	510	300	36	50	410	50	200	φ45	680×490	10-D19 (SD345)	4	3	D13@100	21以上	49.4	18.6
SN490B	(ト)	510	300	36	50	410	50	200	φ45	680×490	10-D19 (SD345)	4	3	D13@100	21以上	48.0	19.2
SN490B	(チ)	510	400	40	50	410	50	150	φ50	690×590	14-D19 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	81.8	38.9
BT-HT440B-SP	(ト)	620	400	40	65	490	75	250	φ50	770×540	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	77.6	34.5
BT-HT440B-SP	(ト)	620	400	40	65	490	75	250	φ50	770×540	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	74.8	36.0
BT-HT440B-SP	(チ)	620	500	44	65	490	75	175	φ60	780×640	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	118	64.0
BT-HT440B-SP	(ト)	640	320	44	50	540	60	200	φ55	820×490	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	102	24.6
BT-HT440B-SP	(ト)	670	430	44	65	540	65	300	φ60	830×590	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	101	47.3
BT-HT440B-SP	(チ)	670	560	48	65	540	80	200	φ65	830×700	16-D22 (SD345)	5	5	D13@100	21以上	166	79.7
BT-HT440B-SP	(チ)	710	570	60	70	570	80	205	φ75	930×790	22-D22 (SD345)	7	6	D13@100	21以上	218	117
BT-HT440B-SP	(ト)	740	340	52	70	600	70	200	φ65	890×490	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	137	28.3
BT-HT440B-SP	(ト)	740	440	48	70	600	70	300	φ65	890×590	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	137	54.7
BT-HT440B-SP	(ト)	810	340	52	75	660	70	200	φ65	950×490	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	165	28.6
BT-HT440B-SP	(チ)	810	440	48	75	660	70	150	φ60	950×590	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	216	60.2
BT-HT440B-SP	(チ)	810	440	60	75	660	70	150	φ65	950×600	14-D25 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	247	68.4
BT-HT440B-SP	(チ)	910	450	65	75	760	75	150	φ75	1,100×640	18-D25 (SD345)	6	5	D16@100	21以上	406	84.7
BT-HT440B-SP	(チ)	1,010	450	65	75	860	75	150	φ75	1,200×640	18-D25 (SD345)	6	5	D16@100	21以上	540	83.9
BT-HT440B-SP	(チ)	1,150	450	60	95	960	75	150	φ75	1,290×640	18-D25 (SD345)	6	5	D16@100	21以上	681	89.4
BT-HT440B-SP	(チ)	1,260	460	65	100	1,060	80	150	φ75	1,400×640	24-D25 (SD345)	9	5	D16@90	24以上	872	93.1
TMCP325B	(チ)	1,260	500	75	100	1,060	100	150	φ75	1,420×660	28-D25 (SD345)	10	6	D16@90	24以上	698	75.6

\*1 柱型の縮小・拡大寸法については、設計ハンドブックをご参照ください。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**〔H-V2Q〕 H形鋼 H200～900用** 柱材F値 235N/mm<sup>2</sup> 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースバック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト (フレーム)							
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法			フレームベース寸法bh	最低h寸法
						x	y	z		
<p>■ ベースプレート</p> <p>【形状(L)】      【形状(S)】</p> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>立上り筋 nx: X方向本数 ny: Y方向本数</p> <p>■ アンカーボルト (フレーム)</p> <p>Y方向立面図      X方向立面図</p> <p>30 J寸法      h寸法      90以上 bh</p> <p>【Aタイプ】</p> <p>30 J寸法      h寸法      90以上 bh</p> <p>【Hタイプ-ABt 6本】</p> <p>30 J寸法      h寸法      90以上 bh</p> <p>【Hタイプ-ABt 8本】</p>	H2020-12V2Q	A	6-M27	490	135	260	150	50	50	550
	H2525-14V2Q	A	6-M33	490	135	310	200	50	50	600
	H3020-12V2Q	H	6-M30	490	135	202	150	50	50	600
	H3030-15V2Q	H	8-M33	490	135	196	250	50	50	650
	H3525-14V2Q	H	6-M33	490	135	276	200	50	50	650
	H3535-19V2Q	H	8-D38	390	180	270	300	50	65	750
	H4020-19V2Q	H	6-M36	490	150	322	150	50	50	650
	H4030-16V2Q	H	6-D38	390	180	318	250	50	65	750
	H4040-21V2Q	H	8-D41	390	190	318	350	50	65	800
	H4040-28V2Q	H	8-D51	390	230	308	360	65	65	950
	H4520-25V2Q	H	6-D41	390	190	374	150	50	65	800
	H4530-18V2Q	H	6-D41	390	190	374	250	50	65	800
	H5020-25V2Q	H	6-D41	390	190	438	150	50	65	800
	H5030-19V2Q	H	8-D38	390	180	438	250	50	65	750
	H5030-22V2Q	H	8-D41	390	190	438	250	50	65	800
	H6030-32V2Q	H	8-D51	390	230	498	250	65	65	950
	H7030-28V2Q	H	8-D51	390	230	598	250	65	65	950
	H8030-26V2Q	H	8-D51	390	230	698	250	65	65	950
*H9030-28V2Q	H	8-D51	390	230	798	250	65	65	950	
*H9030-34V2Q	H	8-D51H	490	235	798	250	65	65	1,050	

材質	形状	ベースプレート							コンクリート柱型					回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]			
		ax	ay	t	lx1	lx2	ly1	ly2	d	断面Dx×Dy <sup>※1</sup> 標準寸法	立上り筋		フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	強軸	弱軸	
											本数-径	nx					ny
SN490B	(L)	410	300	32	50	155	50	200	φ45	610×500	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	27.7	24.9
SN490B	(L)	460	350	36	50	180	50	250	φ50	660×550	14-D19 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	50.8	42.0
SN490B	(L)	510	300	36	50	205	50	200	φ45	680×490	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	58.3	27.9
SN490B	(又)	510	400	36	50	205	50	150	φ50	690×590	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	90.8	47.1
BT-HT440B-SP	(L)	620	400	40	65	245	75	250	φ50	770×540	14-D19 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	90.8	51.8
BT-HT440B-SP	(又)	620	500	40	65	245	75	175	φ60	780×640	18-D22 (SD345)	6	5	D13@100	21以上	130	79.1
BT-HT440B-SP	(L)	640	320	40	50	270	60	200	φ55	830×490	12-D22 (SD345)	5	3	D13@100	21以上	119	35.9
BT-HT440B-SP	(L)	670	430	40	65	270	65	300	φ60	830×590	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	119	66.7
BT-HT440B-SP	(又)	670	560	44	65	270	80	200	φ65	830×700	20-D22 (SD345)	7	5	D13@100	21以上	186	96.9
BT-HT440B-SP	(又)	710	570	52	70	285	80	205	φ75	910×770	22-D25 (SD345)	7	6	D13@100	21以上	240	140
BT-HT440B-SP	(L)	740	340	48	70	300	70	200	φ65	890×490	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	163	41.4
BT-HT440B-SP	(L)	740	440	44	70	300	70	300	φ65	890×600	12-D25 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	161	77.8
BT-HT440B-SP	(L)	810	340	48	75	330	70	200	φ65	950×490	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	195	41.7
BT-HT440B-SP	(又)	810	440	48	75	330	70	150	φ60	950×600	14-D25 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	249	80.7
BT-HT440B-SP	(又)	810	440	52	75	330	70	150	φ65	950×600	16-D25 (SD345)	6	4	D13@100	21以上	272	90.1
BT-HT440B-SP	(又)	910	450	60	75	380	75	150	φ75	1,160×700	24-D25 (SD345)	9	5	D16@100	21以上	457	113
BT-HT440B-SP	(又)	1,010	450	60	75	430	75	150	φ75	1,260×700	24-D25 (SD345)	9	5	D16@100	21以上	609	112
BT-HT440B-SP	(又)	1,150	450	65	95	480	75	150	φ75	1,350×840	24-D25 (SD345)	9	5	D16@100	21以上	802	120
TMCP325B	(又)	1,260	460	75	100	530	80	150	φ75	1,460×660	26-D25 (SD345)	10	5	D16@90	24以上	1,018	123
TMCP325B	(又)	1,260	500	75	100	530	100	150	φ75	1,500×740	30-D25 (SD345)	12	5	D16@90	24以上	804	101

\* オーダー品のため、別途お問い合わせ願います。

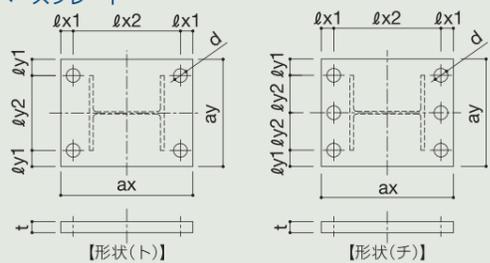
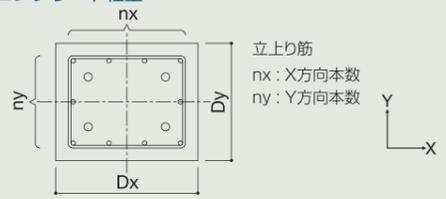
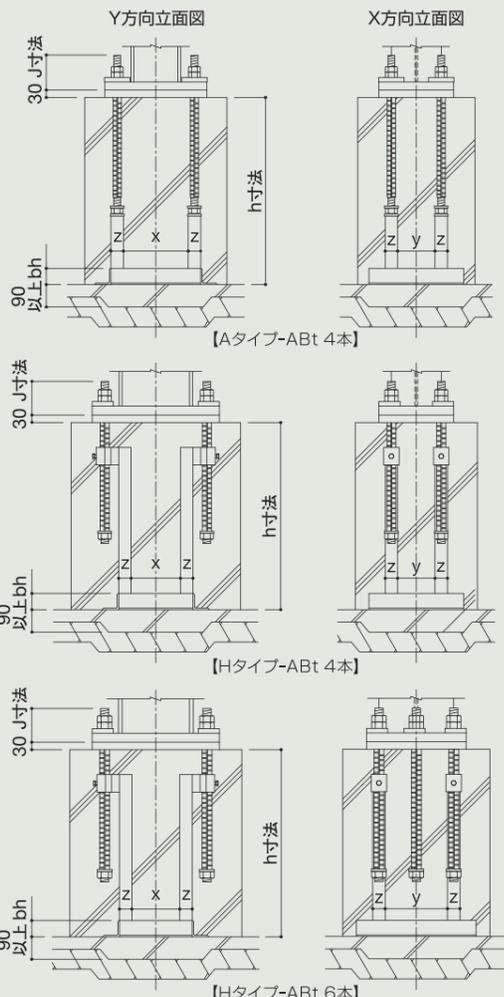
※1 柱型の縮小・拡大寸法については、設計ハンドブックをご参照ください。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**[H-V3] H形鋼 H200~600用** 柱材F値 325N/mm<sup>2</sup>以下 保有耐力接合

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースバック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト(フレーム)							
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法			フレームポスト寸法bh	最低h寸法
						x	y	z		
<p>■ ベースプレート</p>  <p>■ コンクリート柱型</p>  <p>■ アンカーボルト(フレーム)</p> 	H2020-12V3	A	4-M30	490	135	260	150	50	50	600
	H2525-14V3	A	4-M36	490	150	330	200	50	50	650
	H3020-12V3	H	4-M33	490	135	214	150	50	50	650
	H3030-15V3	H	6-M36	490	150	214	250	50	50	650
	H3525-14V3	H	4-D38	390	180	278	200	50	65	750
	H3535-19V3	H	6-D41	390	190	278	300	50	65	800
	H4020-22V3	H	4-D41H	490	200	318	150	50	65	850
	H4030-16V3	H	6-D38	390	180	318	250	50	65	750
	H4040-21V3	H	6-D51	390	230	318	350	65	65	900
	H4520-25V3	H	4-D51	390	230	338	150	65	65	900
	H4530-18V3	H	6-D41	390	190	374	250	50	65	800
	H5020-25V3	H	4-D51	390	230	408	150	65	65	900
	H5030-19V3	H	6-D41H	490	200	444	250	50	65	850
	H5030-28V3	H	6-D51	390	230	408	250	65	65	900
	*H6030-32V3	H	6-D51H	490	235	518	270	65	65	1,000

材質	形状	ベースプレート								コンクリート柱型					回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]		
		ax	ay	t	lx1	lx2	ly1	ly2	d	断面Dx×Dy <sup>※1</sup> 標準寸法	立上り筋		フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	強軸	弱軸	
											本数-径	nx					ny
BT-HT440B-SP	(ト)	410	300	40	50	310	50	200	φ45	610×500	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	26.5	19.1
BT-HT440B-SP	(ト)	480	380	40	50	380	65	250	φ55	680×550	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	47.4	34.0
BT-HT440B-SP	(ト)	530	300	40	50	430	50	200	φ50	710×490	10-D19 (SD345)	4	3	D13@100	21以上	54.6	21.6
BT-HT440B-SP	(チ)	530	430	44	50	430	65	150	φ55	720×590	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	91.6	47.5
BT-HT440B-SP	(ト)	650	400	44	75	500	75	250	φ60	790×540	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	80.3	38.0
BT-HT440B-SP	(チ)	660	520	48	80	500	85	175	φ65	820×680	16-D22 (SD345)	5	5	D13@100	21以上	134	83.5
BT-HT440B-SP	(ト)	690	350	52	75	540	75	200	φ65	830×490	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	87.8	22.2
BT-HT440B-SP	(チ)	690	440	48	75	540	70	150	φ60	830×590	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	143	59.4
BT-HT440B-SP	(チ)	730	580	60	75	580	90	200	φ75	930×780	16-D25 (SD345)	5	5	D13@100	21以上	214	121
BT-HT440B-SP	(ト)	750	350	60	75	600	75	200	φ75	900×520	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	170	34.7
BT-HT440B-SP	(チ)	750	500	52	75	600	100	150	φ65	890×640	16-D22 (SD345)	5	5	D13@100	21以上	196	71.7
BT-HT440B-SP	(ト)	850	350	60	90	670	75	200	φ75	990×530	12-D25 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	207	35.2
BT-HT440B-SP	(チ)	850	450	60	90	670	75	150	φ65	990×600	14-D25 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	203	54.4
BT-HT440B-SP	(チ)	850	500	65	90	670	100	150	φ75	1,050×700	18-D25 (SD345)	6	5	D16@100	21以上	310	92.5
TMCP325B	(チ)	980	500	82	100	780	90	160	φ75	1,150×670	24-D25 (SD345)	8	6	D16@100	24以上	338	79.4

\* オーダー品のため、別途お問い合わせ願います。

※1 柱型の縮小・拡大寸法については、設計ハンドブックをご参照ください。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**[H-VS] H形鋼 H300~450用** 柱材F値 325N/mm<sup>2</sup>以下 柱脚ヒンジ

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位：mm  
単位：N/mm<sup>2</sup>

概要図	ベースバック記号	アンカーフレームタイプ	アンカーボルト (フレーム)							
			本数-呼び	基準強度	J寸法	フレームポスト間寸法			フレームベース寸法bh	最低h寸法
						x	y	z		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■ ベースプレート</p> <p>【形状(L)】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>■ コンクリート柱型</p> <p>立上り筋 nx: X方向本数 ny: Y方向本数</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>■ アンカーボルト (フレーム)</p> <p>Y方向立面図 X方向立面図</p> <p>【Aタイプ】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【Dタイプ】</p> </div> </div>	H3030-15VS	A	4-M30	490	135	100	100	50	50	600
	H3525-14VS	A	4-M30	490	135	130	100	50	50	600
	H3535-19VS	A	4-M33	490	135	130	130	50	50	600
	H4030-16VS	D	4-D38	390	180	214	184	50	65	750
	H4040-21VS	D	4-D38	390	180	214	214	50	65	750
	H4530-18VS	D	4-D38	390	180	264	184	50	65	750

材質	形状	ベースプレート								コンクリート柱型					回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN・m/rad]		
		ax	ay	t	lx1	lx2	ly1	ly2	d	断面Dx×Dy <sup>※1</sup> 標準寸法	立上り筋			フープ筋 SD295	コンクリート 設計基準強度	強軸	弱軸
											本数-径	nx	ny				
BT-HT440B-SP	(JL)	400	400	40	125	150	125	150	φ45	540×540	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	18.0	18.0
BT-HT440B-SP	(JL)	440	350	40	130	180	100	150	φ45	600×510	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	23.5	15.7
BT-HT440B-SP	(JL)	440	440	40	130	180	130	180	φ50	600×600	12-D19 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	28.8	28.8
BT-HT440B-SP	(JL)	490	400	40	140	210	110	180	φ60	790×700	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	35.2	25.0
BT-HT440B-SP	(JL)	490	490	40	140	210	140	210	φ60	710×710	12-D22 (SD345)	4	4	D13@100	21以上	38.4	38.4
BT-HT440B-SP	(JL)	540	400	40	140	260	110	180	φ60	840×700	14-D22 (SD345)	5	4	D13@100	21以上	50.6	25.3

※1 柱型の縮小・拡大寸法については、設計ハンドブックをご参照ください。

⚠ 柱型を縮小・拡大する場合は、設計ハンドブックを必ずご一読ください。

**アンカーフレーム**

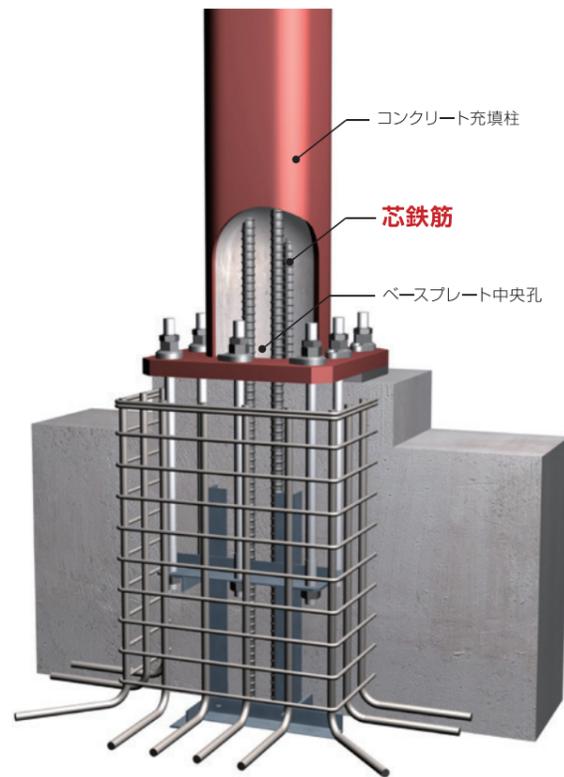
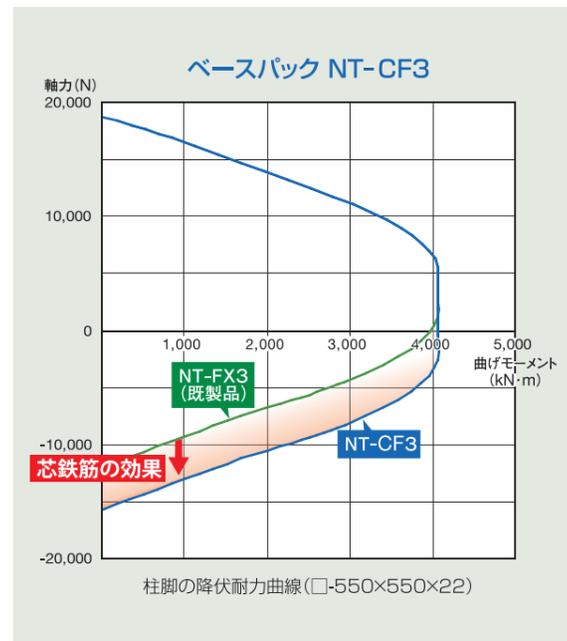


# CFT専用ベースパック

## CFT専用ベースパック NT-CF3

角形鋼管を用いたコンクリート充填柱専用の露出柱脚として、芯鉄筋を採用したNT-CF3を用意しました。

- 芯鉄筋によって柱の充填コンクリートと基礎コンクリートが一体化します。
- 大きな引張軸力が発生する高層ビルの隅柱などに最適です。



### 適用柱サイズ

ベースパック 型式	柱材		適用柱サイズ									
	F値	例	□300	□350	□400	□450	□500	□550	□600	□650	□700	□750
NT-CF3	325N/mm <sup>2</sup> 以下	BCP325						CF3				

### 適用柱部材

- (1) 許容応力度の基準強度(F値)が325N/mm<sup>2</sup>以下となる冷間成形および熱間成形角形鋼管を用いたコンクリート充填角形鋼管。
- (2) 角形鋼管に充填するコンクリートの設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とします。

## [NT-CF3] CFT用 □300~750 柱材F値 325N/mm<sup>2</sup>以下

表に記載の寸法は全て基準寸法です。

単位: mm  
単位: N/mm<sup>2</sup>

柱サイズ		ベースパック 記号	アンカーボルト 本数-呼び	芯鉄筋 本数-呼び (SD490)	ベースプレート外形寸法 (中央孔内径)	コンクリート柱型			回転剛性値 ×10 <sup>3</sup> [kN·m/rad]
外径	板厚					断面	コンクリート 設計基準強度	最低h寸法	
□-300×300	t≤19	30-19CF3	8-M36	4-D29	650×650×50 (160)	850×850	21以上	1,450	83.8
	t≤16	35-16CF3	8-M36	4-D29	700×700×50 (190)	900×900	21以上	1,450	96.8
□-350×350	t≤19	35-19CF3	8-M39	4-D29	700×700×55 (190)	900×900	21以上	1,450	115
	t≤22	35-22CF3	8-M42	4-D29	700×700×60 (190)	900×900	21以上	1,450	131
	t≤25	35-25CF3	8-M42	4-D29	700×700×60 (190)	900×900	21以上	1,450	133
□-400×400	t≤16	40-16CF3	8-M42	4-D29	750×750×60 (220)	950×950	21以上	1,450	160
	t≤19	40-19CF3	8-M45	4-D32	750×750×60 (220)	950×950	21以上	1,600	172
	t≤22	40-22CF3	8-M48	4-D32	750×750×65 (220)	950×950	21以上	1,600	194
	t≤25	40-25CF3	8-M48	4-D32	750×750×65 (220)	950×950	21以上	1,600	197
□-450×450	t≤16	45-16CF3	8-M45	4-D32	800×800×65 (250)	1,000×1,000	21以上	1,600	222
	t≤19	45-19CF3	8-M48	4-D32	800×800×65 (250)	1,000×1,000	21以上	1,600	227
	t≤22	45-22CF3	8-M52	4-D35	800×800×70 (250)	1,000×1,000	21以上	1,750	268
	t≤25	45-25CF3	8-M52	4-D35	800×800×75 (250)	1,000×1,000	21以上	1,750	293
□-500×500	t≤18	45-28CF3	8-M56	4-D38	800×800×75 (250)	1,050×1,050	21以上	1,850	306
	t≤19	50-19CF3	8-M52	4-D38	860×860×65 (280)	1,050×1,050	21以上	1,850	300
	t≤22	50-22CF3	8-M56	4-D38	900×900×75 (280)	1,100×1,100	21以上	1,850	354
	t≤25	50-25CF3	8-M56	4-D38	900×900×75 (280)	1,100×1,100	21以上	1,850	359
□-550×550	t≤28	50-28CF3	8-M60	8-D32	900×900×80 (280)	1,150×1,150	21以上	1,600	438
	t≤32	50-32CF3	8-M64	8-D32	900×900×85 (280)	1,150×1,150	21以上	1,600	478
	t≤19	55-19CF3	8-M56	8-D32	950×950×75 (300)	1,150×1,150	24以上	1,550	457
	t≤22	55-22CF3	8-M60	8-D35	950×950×75 (300)	1,150×1,150	24以上	1,650	482
□-600×600	t≤25	55-25CF3	8-M60	8-D35	950×950×75 (300)	1,150×1,150	24以上	1,650	488
	t≤28	55-28CF3	12-M56	8-D35	950×950×85 (300)	1,200×1,200	24以上	1,650	687
	t≤32	55-32CF3	12-M56	8-D35	950×950×85 (300)	1,200×1,200	24以上	1,650	696
	t≤19	60-19CF3	12-M48	8-D32	1,000×1,000×70 (330)	1,200×1,200	24以上	1,550	581
□-650×650	t≤22	60-22CF3	12-M52	8-D32	1,000×1,000×80 (330)	1,200×1,200	24以上	1,550	707
	t≤25	60-25CF3	12-M56	8-D35	1,000×1,000×80 (330)	1,200×1,200	24以上	1,650	744
	t≤28	60-28CF3	12-M56	8-D35	1,000×1,000×85 (330)	1,250×1,250	24以上	1,650	798
	t≤32	60-32CF3	12-M60	8-D35	1,000×1,000×85 (330)	1,250×1,250	24以上	1,650	826
□-700×700	t≤22	65-22CF3	12-M56	8-D35	1,050×1,050×80 (350)	1,300×1,300	24以上	1,650	844
	t≤25	65-25CF3	12-M60	8-D35	1,050×1,050×80 (350)	1,300×1,300	24以上	1,650	871
	t≤28	65-28CF3	12-M60	8-D35	1,050×1,050×85 (350)	1,350×1,350	24以上	1,650	937
	t≤32	65-32CF3	12-M64	8-D38	1,050×1,050×85 (350)	1,350×1,350	24以上	1,800	982
□-750×750	t≤22	70-22CF3	16-M52	9-D35	1,150×1,150×80 (380)	1,400×1,400	24以上	1,650	1,130
	t≤25	70-25CF3	16-M56	9-D35	1,150×1,150×80 (380)	1,400×1,400	24以上	1,650	1,160
	t≤28	70-28CF3	16-M56	9-D35	1,150×1,150×90 (380)	1,450×1,450	24以上	1,650	1,320
	t≤32	70-32CF3	16-M60	9-D38	1,150×1,150×90 (380)	1,450×1,450	24以上	1,800	1,390
□-750×750	t≤22	75-22CF3	16-M52	9-D35	1,250×1,250×90 (400)	1,500×1,500	24以上	1,650	1,360
	t≤25	75-25CF3	16-M56	9-D35	1,250×1,250×90 (400)	1,500×1,500	24以上	1,650	1,400
	t≤28	75-28CF3	16-M60	9-D38	1,250×1,250×95 (400)	1,550×1,550	24以上	1,800	1,560
	t≤32	75-32CF3	16-M64	9-D38	1,250×1,250×95 (400)	1,550×1,550	24以上	1,800	1,600

### 芯鉄筋

- (1) 芯鉄筋の鋼種・径・本数は上記記載の通りとします。
- (2) 芯鉄筋の角形CFT柱および柱型への必要最低定着長はそれぞれ設計施工標準図にてご確認ください。

⚠️ コンクリート充填角形鋼管(CFT)柱をご使用の場合の柱脚設計事項については、「ベースパック設計ハンドブック CFT版」を必ずご一読ください。

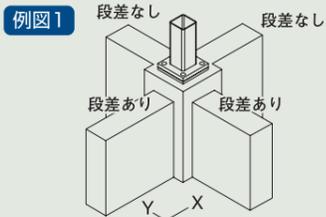
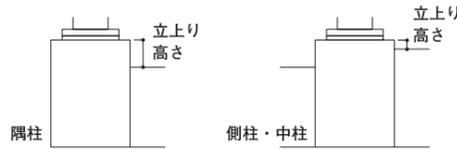
# 柱型立上り部の設計

ベースパックの標準柱型仕様は、基礎梁または基礎フーチング天端からの柱型立上り高さが50mm※<sup>1</sup> (NTは200mm※<sup>2</sup>) 以下の場合に適用できます。これを超える場合には下記に従いRC柱として設計ください。

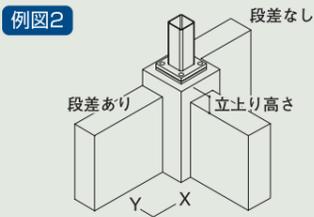
※<sup>1</sup> 50mmを超える場合は右ページ(Lシリーズ)をご参照ください。 ※<sup>2</sup> プレースが接合する方向は50mm以下

## 立上り高さの定義

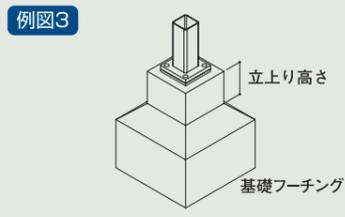
右図の様に、同一方向における左右の「基礎梁天端と柱型天端」あるいは「基礎フーチング天端と柱型天端」との段差のうち最も小さい段差を立上り高さとしします。



例図1 段差なし 段差あり  
X方向・Y方向共、左右一方は段差がない(段差0)のため、立上り高さは「0」となります。



例図2 段差なし 段差あり  
Y方向は、一方にしか基礎梁がなく段差があるため、Y方向については段差寸法が立上り高さとなります。(X方向は立上り高さ0)



例図3 立上り高さ 基礎フーチング  
基礎梁がない場合は、基礎フーチング天端から柱型天端の寸法が立上り高さとなります。

⚠ 立上り高さに関わらず、段差が50mmを超える場合は、下記検討とは別に「基礎コンクリートの破壊防止等の確認」が必要となります。

## 柱型立上り部の設計

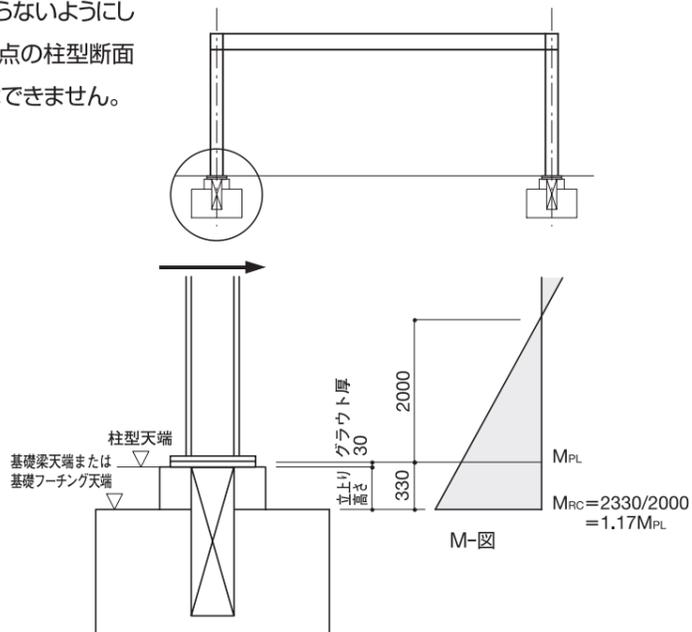
柱の曲げモーメントの大きさは反曲点からの距離に比例するので、柱型に立上りがある場合、立上り起点にベースプレート下面より大きな曲げモーメントが生じることとなります。ここで柱脚の性能を確保するためには、柱脚に先行して柱型立上りが破壊しないように配慮する必要があります。柱型立上り高さが、ベースパックの標準柱脚仕様の上限を超える場合には、柱型をRC柱として柱型の鉄筋量(立上り筋、フープ筋)を設計する必要があります。ここで柱型コンクリート設計基準強度、柱型補強鉄筋の径、本数、強度は全てベースパックの柱型標準仕様を下回らないようにしてください。なお立上り筋量の検討において、立上り起点の柱型断面内に存在するアンカーボルトを加算して設計することはできません。

### ■ 柱型立上り起点に生ずる力の算出例

#### 柱脚部諸条件

柱脚部形状：曲げモーメントが作用する方向に基礎梁がなく、基礎フーチング天端と柱型天端との段差が300mm。  
反曲点高比：0.50  
反曲点：ベースプレート下面より2000mm

ベースプレート下面に生じるモーメントを $M_{PL}$ とすると、柱型立上り起点(基礎フーチング天端)に生じるモーメント( $M_{RC}$ )は $1.17M_{PL}$ となります。曲げモーメントが作用する方向に基礎梁が存在する場合は基礎梁天端が曲げ検討の柱型立上り起点となります。



## [Lシリーズ] I型・II型・円形・H形・UB・P3用柱型 立上り高さ 300mm以下対応

ベースパックLシリーズは、NTを除く柱型の立上り高さを300mmまで対応可能にした製品です。Lシリーズの構造計算に必要な諸数値は標準仕様と同一(下記一部仕様を除く)ですので、標準仕様からLシリーズに変更した場合でも再計算の必要はございません。

### ■ 立上り高さ(上限)

ベースパック型式	標準仕様	Lシリーズ
I型/II型/UB/P3/円形/H形	50mm	300mm
NT	200mm	-

⚠ Lシリーズを使用した柱型においても、プレースが接合する方向の立上り高さの上限は50mmとなります。

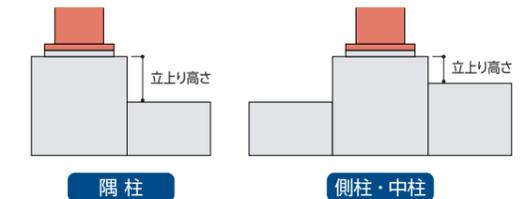
⚠ Lシリーズの柱型の大きさ・補強鉄筋等は、標準仕様と同一ですが、一部仕様(55-22R(L)/55-22P3(L))は柱型立上り筋が標準仕様と異なります。ご注意ください。

### ■ 55-22R/55-22P3 配筋比較表(標準仕様・Lシリーズ)

立上り筋	55-22R		55-22P3	
	標準仕様	Lシリーズ	標準仕様	Lシリーズ
	24-D25(SD345)	28-D25(SD345)	24-D25(SD345)	28-D25(SD345)

### ベースパックにおける立上り高さ

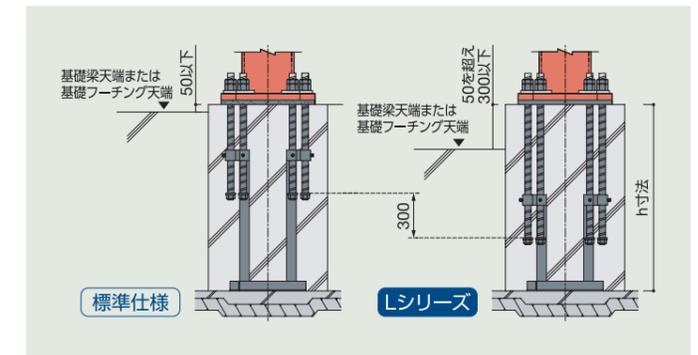
同一方向における左右の「基礎梁天端と柱型天端」あるいは「基礎フーチング天端と柱型天端」とのうち最も小さい段差を立上り高さとしします。



## 標準仕様との違い

Lシリーズのアンカーボルトは、標準仕様と比べて300mm長くなります。この為、Lシリーズは標準仕様に対して、最低h寸法(基礎柱型の最低深さ)が一律300mm大きくなります。

\* 各ベースパックの最低h寸法は、設計ハンドブックをご確認ください。



## 設計者様へのお願い

■ Lシリーズをご採用の際は必ずLシリーズ標準図を設計図書に添付してください。

■ 設計図書の伏図、詳細図等にLシリーズを採用する位置をご明示ください。

その際のベースパック(BP)記号は、標準仕様のBP記号の後に「(L)」とご記載ください。〈例 25-12V(L)〉

⚠ 立上り高さが50mmを超える柱型に採用されるLシリーズでは、立ち上げ部側面のせん断力によるコンクリートの剥落防止の側方破壊検討が必要です。側方破壊のご検討にあたっては、最新の「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」をご参照ください。

⚠ 設計図書に記載のない場合、Lシリーズでの出荷・施工ができないことがあります。

## 立上り高さが300mm\*を超える場合

■ 立上り高さが300mm\*を超える場合は、柱型を「RC柱」として柱型の鉄筋量(立上り筋、フープ筋)を設計する必要があります。詳細は最新の「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」をご参照ください。

⚠ \* プレースが接合する柱脚の柱型の場合は、プレースが接合する方向の立上り高さの上限は50mmとなります。

# 警告 設計指針(抜粋)

本設計指針は抜粋につき、実際の設計に当たっては設計ハンドブックを必ずご一読ください。

## 構造体の設計

### 1. 適用構造形式

基礎構造もしくは鉄筋コンクリート構造上に立つ鋼構造およびコンクリート充填鋼管(CFT)骨組における角形鋼管柱、円形鋼管柱、H形鋼柱の脚部に使用する。

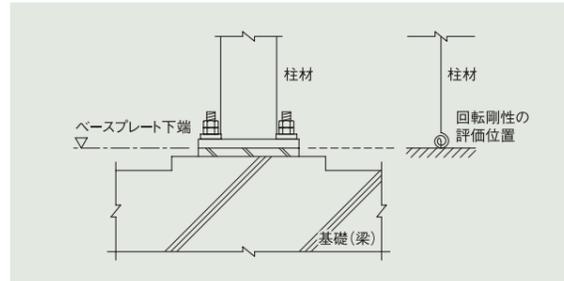
### 2. 柱脚の設計事項

#### (1) 基本事項

- ① 本工法に用いる柱はベースプレート上面に対して直角であることを原則とする。
- ② 本指針に示す柱脚は、回転剛性を考慮した弾性固定とする。
- ③ ベースパックの標準柱脚仕様(角形鋼管用NT-S3、H形鋼用H-VSを除く)は、適用柱材の曲げに対して保有耐力接合であるとみなせる(軸力を考慮しない場合)。

#### (2) フレームの応力解析

フレームの応力解析は、基礎部を適切にモデル化し、下図に示すように柱脚のベースプレート下端位置に回転剛性(回転バネ)を考慮して行う。



#### (3) 基礎梁及び基礎

柱脚部に生じる曲げモーメントは、原則としてすべて基礎梁に負担させ、基礎梁の剛性は、柱脚の固定度を満足させるものとする。ただし、基礎梁を設けずに基礎から直接地盤に曲げモーメントを伝達させる場合は、柱脚の固定度を満足させる基礎を設けなければならない。なお、ブレースでつながれた柱の柱型間は基礎梁でつなぐこととする。

#### (4) 柱型

柱脚部の柱型は立上り高さ50mm(Lシリーズは300mm、NTは200mm)以下において、ベースパックの柱脚仕様(P17~36、P38)を標準とする。これによらない場合は、柱型を「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説2018(日本建築学会)」等に基づいて鉄筋コンクリート柱として設計し、かつ、以下のすべてを満足することとする。

○柱型のコンクリート設計基準強度、及び補強鉄筋(径、本数、ピッチ及び強度)はベースパックの標準柱脚仕様

(P17~36、P38)を下回らないものとする(柱型の断面算定にアンカーボルトは考慮しない)。

- 柱型の許容柱型寸法最小値を下回らないものとする。
- ブレースが平面方向に偏心して接合する場合は、柱型立上り部のねじれを考慮する。

#### (5) 溶接

- ① ベースプレートと柱材の溶接は、完全溶込み溶接とする。ただし柱材がH形鋼の場合は、フランジを完全溶込み溶接、ウェブをすみ肉溶接もしくは、部分溶込み溶接とする。
- ② 異種材料(ベースプレート、柱材、及びガセットプレート)の溶接接合に用いる溶接材料は、接合される母材の許容応力度のうち、小さい方の値を満足するものを使用する。
- ③ 異種材料(ベースプレート、柱材、及びガセットプレート)の溶接部の基準強度は、接合される母材の許容応力度のうち、小さい方の値とする。

#### (6) ブレース材との接合

- ① ブレース材のガセットプレートもしくはブラケットの柱脚部への接合方法として、以下に示すa~dを行ってはならない。
  - a) 鋼管壁の無補強
  - b) ベースプレートの拡大
  - c) ベースプレートのみへの接合
  - d) 冷間成形角形鋼管のコーナー部への溶接接合
- ② ガセットプレートはベースプレートにも溶接接合することを原則とする。これによらない場合は、ねじれ等を考慮して柱材とベースプレートの溶接部検討を行う。
- ③ ガセットプレートやブラケットとベースプレートの接合位置は確実にボルトを締め付けられるようにアンカーボルトや座金との納まりを考慮する。
- ④ 同一構面内で柱脚の両側にブレースが接合する場合は、平面方向鉛直方向共に各々のブレース軸心を一致させる。
- ⑤ 水平方向において、ブレース軸心と柱心は偏心接合しないことを原則とする。ただし、やむを得ず偏心接合させた場合は、柱脚検討用応力において「ブレース平面偏心割増係数 $\mu$ 」を考慮する。
- ⑥ 円形鋼管柱の場合、水平方向におけるブレース軸心と柱心は偏心接合しないこと。
- ⑦ 水平方向において、ブレース軸心と柱心が偏心接合し、かつ、ベースプレート下面を基準として、ブレースが柱材の鉛直方向に偏心する場合、鉛直方向の偏心量は、柱幅(柱径)以下とする。
- ⑧ ベースプレート下面を基準として、ブレースは鉛直下側に偏心させないことを原則とする。
- ⑨ Lシリーズを使用した柱脚にブレースが取り付けられる場合は、ブレースが取り付け方向の柱型立上り高さを50mm以下とする。

## 標準柱脚仕様

### 1. 共通事項

#### (1) 立上り部の高さ

基礎梁または基礎フーチング天端からの柱型の立上り高さは50mm<sup>\*1</sup>(NTは200mm<sup>\*2</sup>)以下とする。

<sup>\*1</sup> Lシリーズは300mm

ただしブレースが接合する方向の立上り高さの上限は50mm

<sup>\*2</sup> ブレースが接合する方向は50mm以下

#### (2) 戻り止め

ナットの緩みを防止するために、戻り止め処置を行う。

#### (3) 配筋

立上り筋の頂部にはフックを設けなくてもよい。また、柱型頂部のフープ筋(トップフープ)は、ダブルとし、柱型上端近くに配置する。

基礎梁の配筋は、アンカーボルト、定着部材及びアンカーフレーム部材の位置を考慮して配筋位置を決める。

#### (4) コンクリート

コンクリートは普通コンクリートとし、設計基準強度はベースパックの標準仕様(P17~36、P38)に記載された数値とする。なお、コンクリート設計基準強度が $21\text{N/mm}^2$ 以上の仕様と $24\text{N/mm}^2$ 以上の仕様がある。

### 2. 標準寸法

本工法における標準寸法を右図に示す。

アンカーボルトの埋込み長さは以下によるものとする。

#### ① Mアンカーボルト仕様

(アンカーボルト呼び径がMで始まる仕様)

I型・円形・H形(アンカーフレームAタイプ)の

アンカーボルト4本仕様:  $1.15D^{*3}$ 以上

上記以外の仕様:  $1.3D^{*3}$ 以上

(Lシリーズは上記に300mmが加算される)

#### ② Dアンカーボルト仕様

(アンカーボルト呼び径がDで始まる仕様)

II型・UB・円形・H形:  $1.5D^{*3}$ (SD490の場合は $1.7D^{*3}$ )

<sup>\*3</sup> Dはアンカーボルト異形部呼び名

(Lシリーズは上記に300mmが加算される)

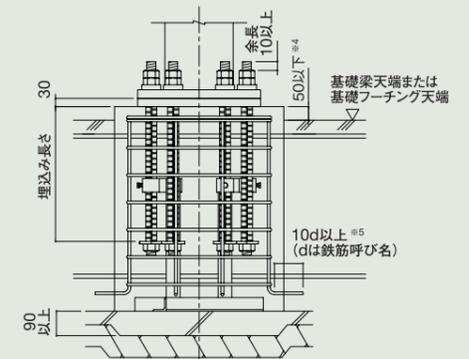
#### ③ NT(ハイテンアンカー)

アンカーボルトの定着には定着ベルトを用いることとする。ここで、定着ベルトの深さ位置(アンカーボルト埋込み長さ)は、ベースパックの標準仕様(P21~P24)に記載された数値とする。

#### ④ CF3(CFT専用)

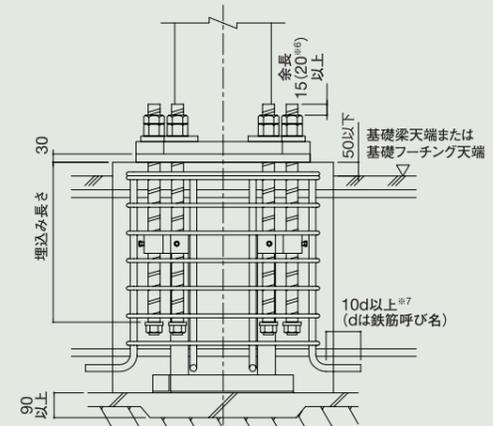
芯鉄筋の定着に関しては「ベースパック設計ハンドブックCFT版」を参照のこと。

【I型・円形・H形】Mアンカーボルト仕様



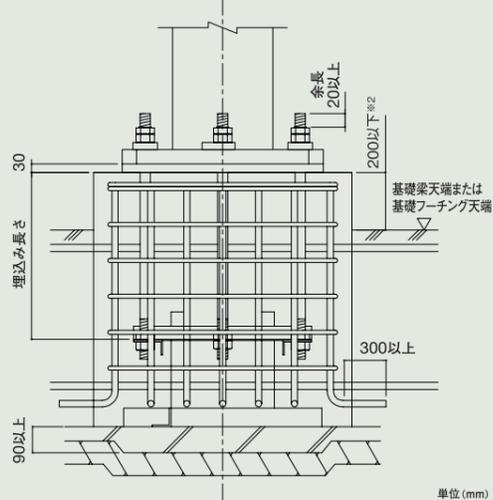
<sup>\*4</sup> Lシリーズは300以下 <sup>\*5</sup> I型においては150以上

【II型・UB・円形・H形】Dアンカーボルト仕様



<sup>\*6</sup> D51の場合 <sup>\*7</sup> II型・UBにおいては150以上

【NT】



単位(mm)

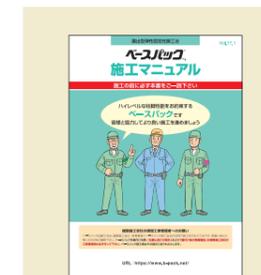
# 標準施工

## ■ 工程（施工部分）



ベースパック工事は、ベースパック・セレクトベース指定施工店が行います。現場工事管理者様は、立会い・指示・承認をお願いします。

## ■ アンカーフレーム 構成部材



施工及び施工区分については、「施工マニュアル」に基づいて実施してください。

## ■ 墨出し



通し墨による柱心の明示、及びコンクリート柱型の明示を据付け日の前日迄に終了願います。

## ■ アンカーボルト据付け例（Ⅱ型）



## ■ 杭と干渉する際の施工例



1～11は標準的な施工例です。標準的な施工方法以外のアンカーボルト取付け方法を採用する場合があります。

配筋・型枠・コンクリート打設



配筋



型枠・コンクリート打設



埋戻し

- ⚠️ 警告 アンカーボルトに溶接しないでください。
- ⚠️ 警告 ベースパックに鉄筋を結束しないでください。

レベルモルタル・鉄骨建方



グラウト(24kg缶)



グラウト(25kg袋)



レベルモルタル

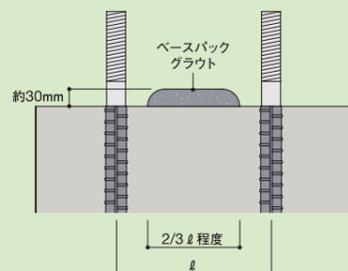


図-1 レベルモルタルの大きさ

- ⚠️ 警告 レベルモルタルの施工には、ベースパックグラウトをご使用ください。

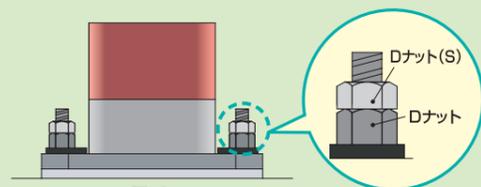


図-2

- ⚠️ 警告 ベースパックDアンカーボルト仕様(Ⅱ型・UB・円形・H形)の鉄骨建方時におけるナット締付けは、Dナットを下側に、Dナット(S)を上側にして締付けてください。(図-2参照)

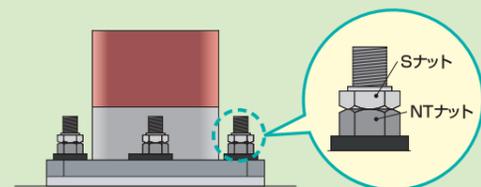


図-3

- ⚠️ 警告 ベースパックNTの鉄骨建方時におけるナット締付けは、NTナットを下側に、Sナットは凸を上向きにして締付けてください。(図-3参照)

注入枠の設置



- ⚠️ 警告 ベースプレート下部に異物がある場合は、事前に取り除いてください。

ベースパックグラウトの注入



グラウトと注入器具



水とグラウトの混ぜ合わせ



グラウトの攪拌



グラウトの注入



グラウト充填完了

- ⚠️ 警告 土間コンクリートの打設や腰壁の型枠設置等の作業は、ベースパックグラウト注入後をお願いします。

[現場工事管理者様へのお願い] チェックシート

アンカーセット完了時及びベースパックグラウト注入完了時には、チェックシートに承認・サインをお願いします。

ベースパック チェックシート		05ベースパック施工標準委員会 編出	
項目	確認内容	確認結果	確認日時
1	アンカーボルトの仕様		
2	アンカーボルトの位置		
3	アンカーボルトの深さ		
4	アンカーボルトの角度		
5	アンカーボルトの長さ		
6	アンカーボルトの径		
7	アンカーボルトの材質		
8	アンカーボルトの加工		
9	アンカーボルトの塗装		
10	アンカーボルトの検査		
11	アンカーボルトの保管		
12	アンカーボルトの搬入		
13	アンカーボルトの搬出		
14	アンカーボルトの廃棄		
15	アンカーボルトの回収		
16	アンカーボルトの再検査		
17	アンカーボルトの再搬入		
18	アンカーボルトの再搬出		
19	アンカーボルトの再廃棄		
20	アンカーボルトの再回収		

ベースパック 据付け記録		05ベースパック施工標準委員会 編出	
項目	確認内容	確認結果	確認日時
1	アンカーボルトの仕様		
2	アンカーボルトの位置		
3	アンカーボルトの深さ		
4	アンカーボルトの角度		
5	アンカーボルトの長さ		
6	アンカーボルトの径		
7	アンカーボルトの材質		
8	アンカーボルトの加工		
9	アンカーボルトの塗装		
10	アンカーボルトの検査		
11	アンカーボルトの保管		
12	アンカーボルトの搬入		
13	アンカーボルトの搬出		
14	アンカーボルトの廃棄		
15	アンカーボルトの回収		
16	アンカーボルトの再検査		
17	アンカーボルトの再搬入		
18	アンカーボルトの再搬出		
19	アンカーボルトの再廃棄		
20	アンカーボルトの再回収		

ベースパックチェックシート・据付け記録

# ベースプレートの溶接

ベースプレートは、溶接性の配慮と品質確保のため、ベースパックの構成部品として、メーカーが供給することになっております。

## ベースプレートの材質 (サイズはP17~P36参照)

### 角形鋼管用

- ①ベースパック I 型……………SN490B
- ②ベースパック II 型……………SN490B  
BT-HT440B-SP\*
- ③ベースパック NT……………TMCP325B\*
- ④ベースパック UB……………BT-HT440B-SP\*

### 円形鋼管用

- ベースパック円形……………SN490B  
BT-HT440B-SP\*  
TMCP325B\*

### H形鋼用

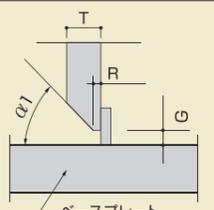
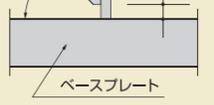
- ベースパックH形……………SN490B  
BT-HT440B-SP\*  
TMCP325B\*

※建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料

## ベースプレートの特長

- ①BT-HT440B-SP (建築構造用高溶接性高性能590N/mm<sup>2</sup>鋼材)  
高強度でありながら塑性変形能力、靱性に優れ、さらに溶接割れ感受性組成(P<sub>CM</sub>)を低く抑えることで、優れた耐溶接冷間割れ性を有した材料です。
- ②TMCP325B  
溶接性および強度・靱性の優れた鋼板製ベースプレートです。

## 開先標準 完全溶込み溶接の開先標準 (日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事 2018年版より)

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔 G(mm)		ルート面 R(mm)		開先角度 α <sub>1</sub> (°)		溶接姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
	被覆アーク溶接	6~	7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α <sub>1</sub> : 45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			9	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α <sub>1</sub> : 35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6~	6	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α <sub>1</sub> : 45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α <sub>1</sub> : 35		

- 許容差・記号+∞は制限無しを示す。  
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段括弧内:限界許容差)を示す。
- 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

## ベースプレートの予熱温度の標準

溶接方法	材質・板厚(mm)		SN490B	BT-HT440B-SP	TMCP325B
	t<32	32≤t≤50	40≤t≤75	40≤t≤75	75<t≤100
低水素系被覆アーク溶接	予熱なし	50℃	予熱なし	50℃	80℃
CO <sub>2</sub> ガスシールドアーク溶接	予熱なし	予熱なし	予熱なし	予熱なし	50℃

- ▲表は、気温(鋼材表面温度)が5℃以上で適用する。
- ▲気温が-5℃以上5℃以下で溶接する場合は、「鉄骨工事技術指針:工場製作編」等を参考に別途適切な処置をとる。
- ▲気温が-5℃未満の場合は溶接を行わない。
- ▲溶接部の補修や組立溶接で拘束が大きいことが予想される場合は、表の値より40℃高い温度とする。その他必要に応じて適切な予熱をする。

## 溶接施工要領

本工法のベースプレートと柱材の溶接に関しては、特記無き場合「ベースパック柱脚工法設計施工標準図」および「ベースパックNT柱脚工法設計施工標準図」によるものとします。

## 溶接および溶接材料

溶接は完全溶込み溶接とします。なお、溶接材料は柱材の基準強度を満足する溶接材料を使用してください。  
柱材の開先は「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事」の完全溶け込み溶接の開先標準を参照してください。

## 溶接施工及び施工管理

ベースプレートと柱材の溶接施工及び施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等により行うものとします。

# 評定書・認定書

## (一財)日本建築センター評定書(写)



[ベースパック I 型・II 型・UB・円形・H形]  
BCJ評定-STO093-18  
令和4年11月17日取得

## (一財)日本建築センター評定書(写)



[ベースパックNT]  
BCJ評定-STO054-11  
令和4年5月20日取得

## 国土交通大臣認定書(写)



## 国土交通大臣指定書(写)



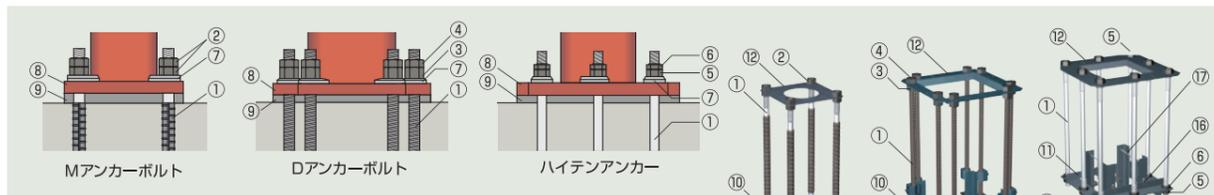
## 建築基準法第37条に基づく指定建築材料一覧

型式	部材	ボルト呼び	記号または材質	JIS番号または大臣認定番号	
				建設地	
				東日本 (新潟県・長野県・静岡県以東)	西日本 (富山県・岐阜県・愛知県以西)
ベースパック I 型・II 型・UB 円形・H形	Mアンカーボルト	M27~M39	BPM-SD490	MBLT-0215	MBLT-0214
		D38・D41	BPD-SD390	MBLT-0197	MBLT-0204
		D41H	BPD-SD490	MBLT-0199	MBLT-0206
	Dアンカーボルト	D51	BPD-SD390	MBLT-0204	
		D51H	BPD-SD490	MBLT-0206	
		ベースプレート	SN490B	JIS G 3136*	
		BT-HT440B-SP	MSTL-0120		
		TMCP325B	MSTL-0129 等		
ベースパックNT FX3・S3・CF3	アンカーボルト	M36~M64	NH48MV	MBLT-0161	
	ベースプレート		TMCP325B	MSTL-0129 等	

※ 建築基準法第37条第一号指定建築材料として適合するJIS規格。  
詳細はB-PACK.NET (<http://www.b-pack.net/>)をご参照ください。

# 構成部品

## 構成部品名称・形状寸法



① アンカーボルト	⑦ 注入座金	⑬ フレームポスト
② Mナット	⑧ ベースプレート	⑭ フレームベース
③ Dナット	⑨ ベースバックグラウト	⑮ ベルト受け金物
④ Dナット(S)	⑩ 定着座金	⑯ ベルト固定具
⑤ NTナット	⑪ 定着ベルト	⑰ ポスト繋ぎ金具
⑥ Sナット	⑫ テンプレート	⑱ ステコアンカー



※⑫～⑱は現場状況によって仕様異なる場合があります。

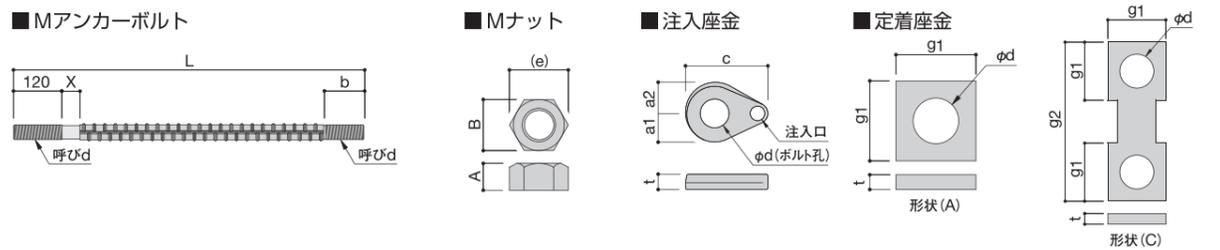
主な構成部品および基準寸法を示します。

### Mアンカーボルト・Mナット・注入座金®・定着座金

単位:mm

Mアンカーボルト						Mナット			注入座金					定着座金						
呼びφd	異形部呼び名	アンカーフレームタイプ	L <sup>※1</sup>	X	b <sup>※1</sup>	呼び	A	B	(e)	記号	a1	a2	c	t	φd	形状	g1	g2	t	φd
M27	D29	A	650	45	128	M27	22	41	47	PM27	32	42	101	18	28	(A)	55	-	9	28
M30	D32	A	695	45	133	M30	24	46	53	PM30	32	42	101	18	31	(A)	55	-	9	31
		C, H	695	45	50											(C)	55	168	9	32
M33	D35	A	690,735	45	95,140	M33	26	50	58	PM33	35	45	110	18	34	(A)	60	-	9	34
		C, H	720	45	50											(C)	60	173	9	35
M36	D38	A	770	60	130	M36	29	55	64	PM36	35	45	110	18	37	(A)	65	-	12	37
		C, H	770	60	50											(C)	65	178	9	38
M39	D41	A	770,810	60	98,135	M39	31	60	69	PM39	38	48	118	18	40	(A)	80	-	12	40

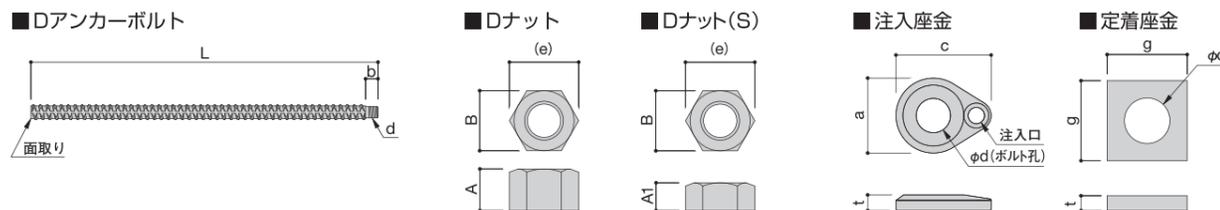
※1 h寸法によりアンカーボルト長さが異なります。h寸法が低い場合に短いアンカーボルトを使用します。  
I型Lシリーズの場合、項目「L」は記載の寸法に対して300mm長くなります。



### Dアンカーボルト・Dナット・注入座金®・定着座金

単位:mm

Dアンカーボルト				Dナット			端部ナット(Mナット)			注入座金					定着座金					
呼び	L	b	端部ねじφd	呼び	DナットA	Dナット(S)A1	B	(e)	呼び	A	B	(e)	記号	a	c	t	φd	g	t	φd
D38	850	46	M33	D38	45	30	65	75	M33	26	50	58	PD38	96	122	20	43	65	12	37
D41	900	49	M36	D41	48	32	70	80	M36	29	55	64	PD41	100	127	20	46	70	12	37
D41H	995																			
D51	1,110	57	M45	D51	60	40	80	92	M45	36	70	81	PD51	110	140	20	58	85	12	46
D51H	1,215																			

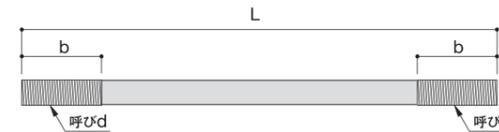


### ハイテンアンカー®・NTナット・Sナット・注入座金®

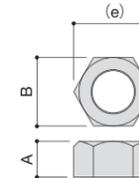
単位:mm

ハイテンアンカー			NTナット・Sナット						注入座金				
呼びφd	L	b	呼び	A	A1	B	(e)	dw	記号	a	c	t	φd
M36	870	140	M36	29	21	55	64	44	PH36	86	115	25	37
M39	880	140	M39	31	23	60	69	44	PH39	94	122	25	40
M42	940	150	M42	34	25	65	75	59	PH42	98	125	25	43
M45	950	150	M45	36	27	70	81	59	PH45	106	133	25	46
M48	1,010	160	M48	38	29	75	87	59	PH48	112	138	25	49
M52	1,030	170	M52	42	31	80	92	59	PH52	120	145	25	53
M56	1,100	180	M56	45	34	85	98	74	PH56	128	153	25	57
M60	1,170	200	M60	48	36	90	104	74	PH60	138	161	25	61
M64	1,220	200	M64	51	38	95	110	74	PH64	146	168	25	65

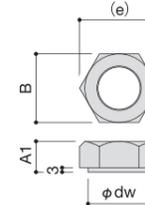
#### ハイテンアンカー



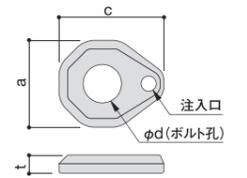
#### NTナット



#### Sナット



#### 注入座金



### 定着ベルト(NT-FX3)

単位:mm

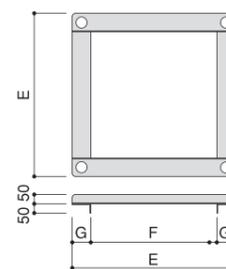
ベースバック記号	E	F	G
30-19FX3	530	330	100
35-16FX3 35-19FX3	620	420	100
35-22FX3 35-25FX3	620	420	100
40-16FX3 40-19FX3 40-22FX3 40-25FX3	660	460	100
45-16FX3 45-19FX3 45-22FX3 45-25FX3	720	520	100
45-28FX3	770	510	130
50-19FX3	760	560	100
50-22FX3 50-25FX3 50-28FX3 50-32FX3	830	570	130
55-19FX3 55-22FX3 55-25FX3	880	620	130
55-28FX3 55-32FX3	880	620	130
60-19FX3 60-22FX3	880	680	100
60-25FX3 60-28FX3 60-32FX3	930	670	130
65-22FX3 65-25FX3 65-28FX3 65-32FX3	980	720	130
70-22FX3	980	780	100
70-25FX3 70-28FX3 70-32FX3	1,030	770	130
75-22FX3	1,070	870	100
75-25FX3 75-28FX3 75-32FX3	1,120	860	130

### 定着ベルト(NT-S3)

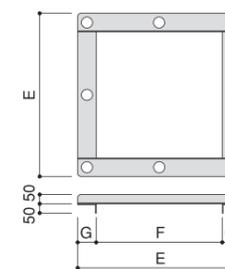
単位:mm

ベースバック記号	E	F	G
30-19S3	530	330	100
35-16S3	530	330	100
35-19S3 35-22S3 35-25S3	560	360	100
40-16S3 40-19S3 40-22S3	620	420	100
40-25S3	620	420	100
45-16S3	690	490	100
45-19S3 45-22S3 45-25S3 45-28S3	690	490	100
50-19S3 50-22S3 50-25S3 50-28S3 50-32S3	740	540	100
55-19S3 55-22S3 55-25S3 55-28S3	810	610	100
55-32S3	860	600	130
60-19S3 60-22S3	860	660	100
60-25S3 60-28S3 60-32S3	910	650	130
65-22S3 65-25S3 65-28S3 65-32S3	930	730	100
70-22S3 70-25S3 70-28S3	980	780	100
70-32S3	1,030	770	130
75-22S3 75-25S3	1,030	830	100
75-28S3 75-32S3	1,130	870	130

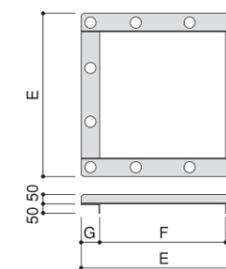
#### 4本タイプ



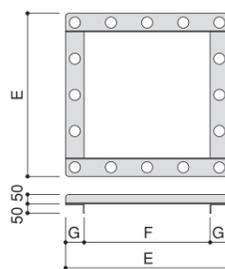
#### 8本タイプ



#### 12本タイプ



#### 16本タイプ



### ベースバックグラウト規格値

圧縮強度 <sup>※2</sup>		流動性 <sup>※3</sup>	膨張収縮率 <sup>※4</sup>
材齢3日(N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日(N/mm <sup>2</sup> )	コンシステンシーJ <sub>14</sub> (秒)	材齢7日(%)
30以上	40以上	5~10	0以上

※2: JIS A 1108を準用(供試体φ50×100)  
 ※3: 土木学会基準 JSCE-F541に準拠  
 ※4: 土木学会基準 JSCE-F542を準用(押金物は基長測定後に外す)